

第2章 事業の進捗状況及び区民等からの意見

2.1 事業の進捗状況

2.1.1 整理対象

地区別計画に位置づけた特定事業等（683事業）について、現行基本構想の目標年次である令和7年度末時点（見込みを含む）の進捗状況を把握しました。

表2 地区別計画における事業数（中間評価（R5.3）を踏まえた計画変更後）

重点整備地区	実施時期						合計
	短期	中期	長期	継続	順次・随時	その他	
都心地域	37	14	39	24	5	12	131
下町隣接地域	22	11	6	28	0	1	68
山の手地域東部	15	24	19	53	0	1	112
山の手地域中央	25	26	33	63	0	4	151
山の手地域西部	14	16	16	28	2	1	77
共通	16	23	29	37	36	3	144
合計	129	114	142	233	43	22	683

※「共通」は、重点整備地区境界を越えて実施する事業で、道路特定事業や交通安全特定事業、公共交通特定事業のバス事業が該当します。

表3 実施時期の説明

実施時期	説明
短期	平成28・29年度～令和2年度に実施する事業
中期	令和3年度～令和7年度に実施する事業
長期	令和8年度以降に実施する事業
継続	計画期間を通じて継続的に実施する事業
順次・随時	計画期間を通じて順次または随時実施する事業
その他	実現が困難と判断され実施しないこととした事業や、施設の閉館等の理由により予定事業を中止した事業

2.1.2 特定事業等の着手率及び完了・継続率の整理

各施設設置管理者等による特定事業等の進捗報告を基に、地区及び特定事業種、ハード・ソフト分類ごとに、「事業全体着手率」、「事業全体完了・継続率」、「短期・中期事業着手率」、「短期・中期事業完了・継続率」を整理しました。

「事業全体着手率」とは、地区別計画に位置づけた全事業のうち、事業状況が〔完了〕〔継続〕〔実施中〕の事業の割合を示したものです。また、「事業全体完了・継続率」とは、地区別計画に位置づけた全事業のうち、事業状況が〔完了〕〔継続〕の事業の割合を示したものです。

「短期・中期事業着手率」とは、地区別計画で実施時期を【短期】【中期】【継続】に位置づけた事業のうち、事業状況が〔完了〕〔継続〕〔実施中〕の事業の割合を示したものです。また、「短期・中期事業完了・継続率」とは、地区別計画で実施時期を【短期】【中期】【継続】に位置づけた事業のうち、事業状況が〔完了〕〔継続〕の事業の割合を示したものです。

なお、特定事業等の実施に向けた検討の結果、実現が困難と判断され実施しないこととした事業や、施設の閉館等の理由により予定事業を中止した事業は事業状況を〔その他〕として集計しています。

2.1.3 全体着手率及び完了・継続率

区全域における事業全体着手率は 82%となっており、事業全体完了・継続率は 72%となっています。

また、短期・中期の事業着手率は 92%、短期・中期の事業完了・継続率は 90%となっており、目標年次までの実施を位置づけた事業については、概ね計画通り進捗しています。

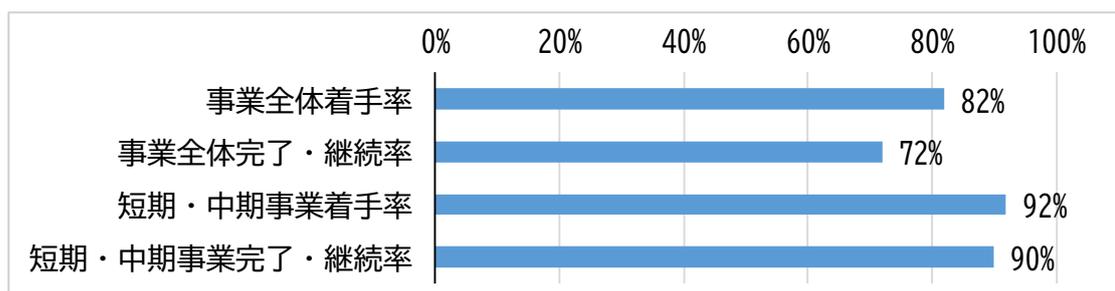


図 5 全体着手率及び完了・継続率

2.1.4 地区別着手率及び完了・継続率

地区別に見ると、事業全体着手率では、下町隣接地域が88%と最も事業が推進されており、次いで山の手地域東部（86%）、山の手地域西部（84%）となっています（共通を除く）。

事業全体完了・継続率では、下町隣接地域が86%と最も事業が推進されており、次いで山の手地域東部（80%）、山の手地域西部（76%）となっています。

短期・中期事業着手率では、山の手地域西部が95%と最も事業が推進されており、次いで下町隣接地域（92%）、山の手地域東部（91%）となっています（共通を除く）。

短期・中期事業完了・継続率では、下町隣接地域が92%と最も事業が推進されており、次いで山の手地域西部（91%）、山の手地域中央（89%）となっています（共通を除く）。

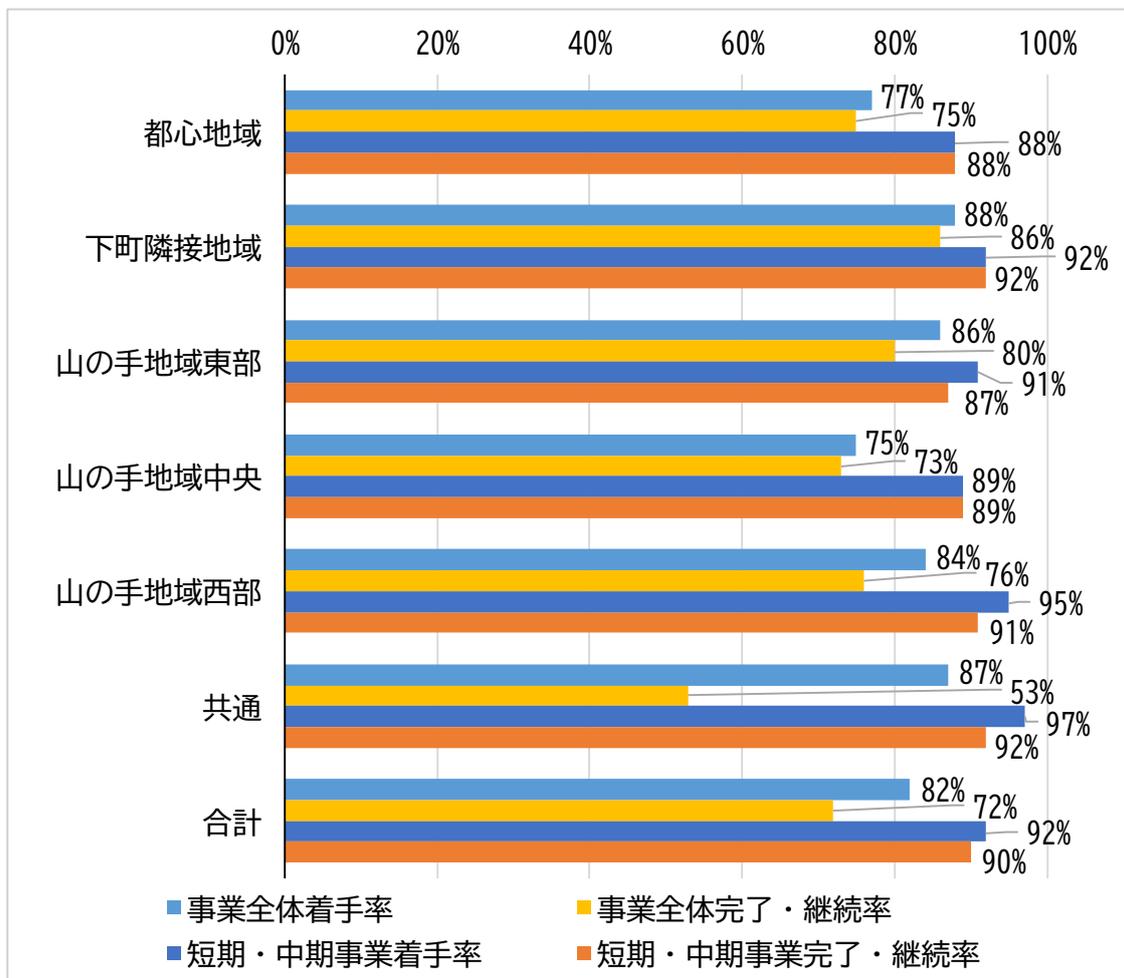


図6 地区別着手率及び完了・継続率

2.1.5 特定事業種別着手率及び完了・継続率

特定事業種別に見ると、交通安全特定事業は、事業全体着手率、短期・中期事業着手率、短期・中期事業完了・継続率が100%となっています。

公共交通特定事業、道路特定事業、建築物特定事業の短期・中期事業完了・継続率は90%以上となっており、概ね計画通り事業が進捗しています。

都市公園特定事業は他の事業種と比べて低く、短期・中期事業完了・継続率は65%となっています。

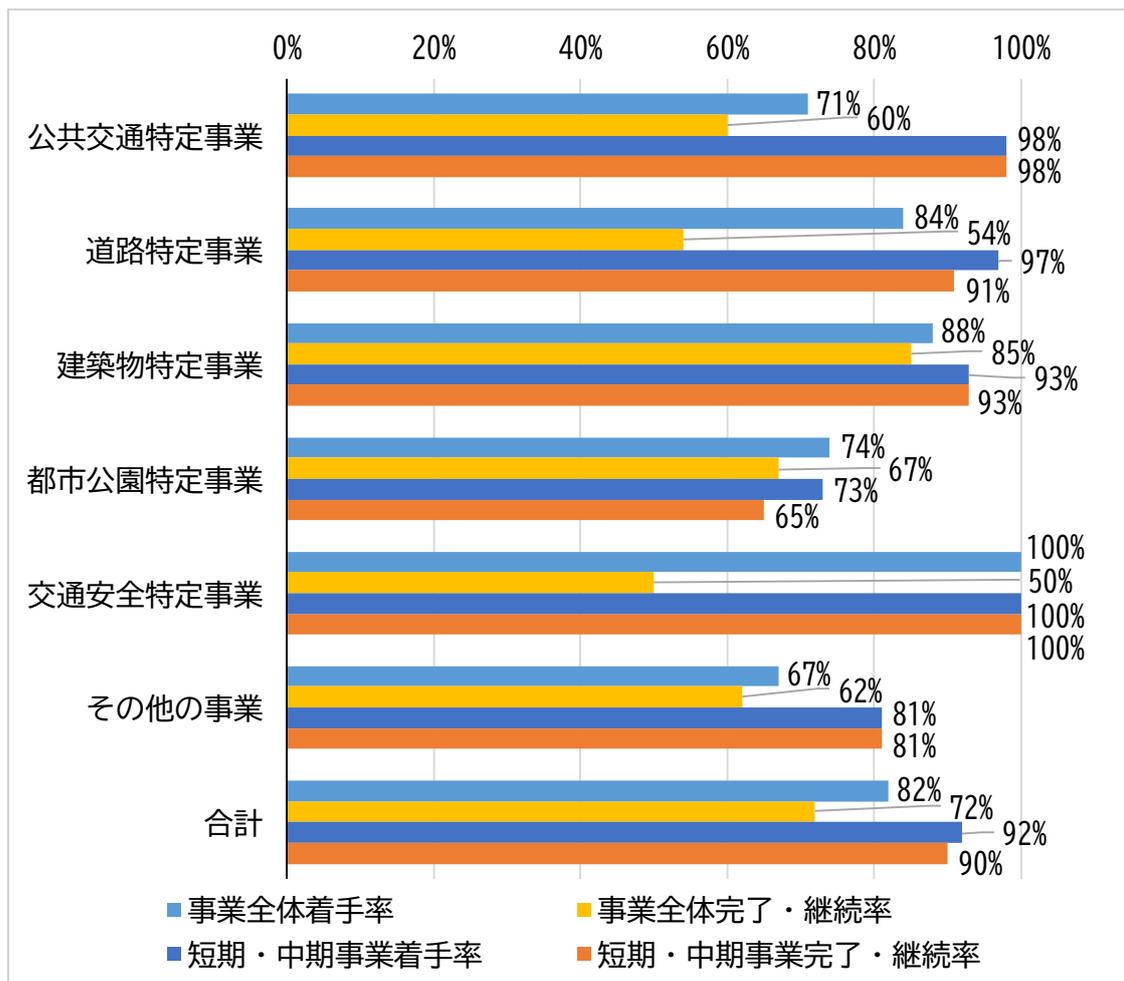


図7 特定事業種別着手率及び完了・継続率

2.1.6 ハード・ソフト分類別着手率及び完了・継続率

ハード・ソフト分類別に見ると、事業全体完了・継続率では、ハード事業が54%、ソフト事業が93%となっており、短期・中期事業完了・継続率では、ハード事業が81%、ソフト事業が96%となっています。

ソフト事業は職員・従業員等の研修や意識の啓発、案内表示の設置などの比較的容易に実施しやすい事業であることから、ハード事業と比べて着手率が高くなっていると考えられます。

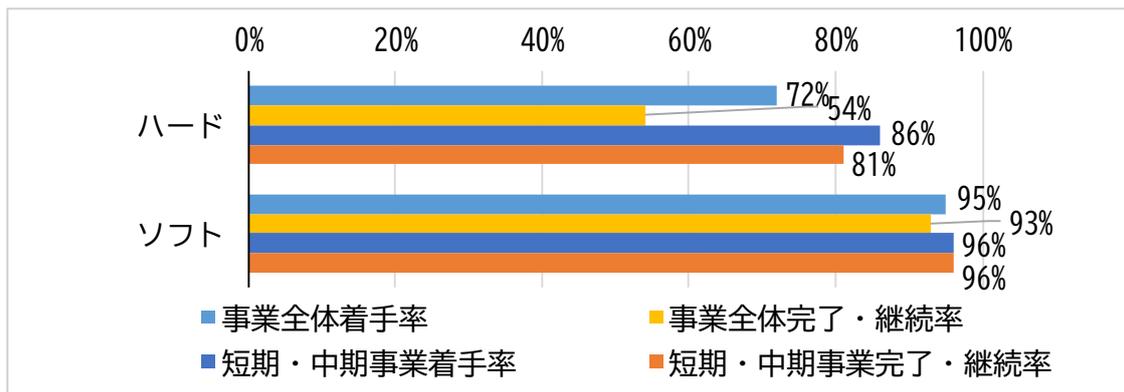


図8 ハード・ソフト分類別着手率及び完了・継続率

令和7年度末時点（見込みを含む）の特定事業等の進捗状況整理表を次ページ以降に示します。

表4 令和7年度末時点（見込みを含む）の特定事業等の進捗状況整理表（事業全体）

地区	事業状況	公共交通特定事業				道路特定事業						建築物特定事業				都市公園特定事業				交通安全特定事業			その他の事業			合計		実施 状況別 割合				
		鉄道		バス		国道		都道		区道		公共施設		民間施設		都立		区立		ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト					
		ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト															
都心 地域	全事業数	24	9			33							6	11	39	16	72	6	4					13	3	16	88	43	131			
	完了	15	7			22							3	2	17	7	29	5	3					7	1	8	47	20	67			
	継続	0	2			2							0	9	1	7	17	0	0					0	0	0	1	18	19			
	実施中	1	0			1							0	0	1	0	1	0	0					1	0	1	3	0	3			
	未着手	8	0			8							3	0	6	1	10	1	0					5	2	7	23	3	26			
	その他	0	0			0							0	0	14	1	15	0	1					0	0	0	14	2	16			
	着手率	67%	100%			76%							50%	100%	76%	93%	82%	83%	100%					62%	33%	56%	69%	93%	77%			
	完了・継続率	63%	100%			73%							50%	100%	72%	93%	81%	83%	100%					54%	33%	50%	65%	93%	75%			
下町 隣接 地域	全事業数	4	2			6							10	30	12	5	57							4	1	5	30	38	68			
	完了	2	0			2							5	7	11	1	24							4	1	5	22	9	31			
	継続	0	2			2							0	21	0	3	24							0	0	0	0	26	26			
	実施中	0	0			0							0	0	0	1	1							0	0	0	0	1	1			
	未着手	2	0			2							4	1	1	0	6							0	0	0	7	1	8			
	その他	0	0			0							1	1	0	0	2							0	0	0	1	1	2			
	着手率	50%	100%			67%							56%	97%	92%	100%	89%							100%	100%	100%	76%	97%	88%			
	完了・継続率	50%	100%			67%							56%	97%	92%	80%	87%							100%	100%	100%	76%	95%	86%			
山 の 手 地 域 東 部	全事業数	5	6			11							22	45	5	9	81	3	12	2	3	20					37	75	112			
	完了	0	6			6							16	9	2	4	31	0	4	2	1	7					20	24	44			
	継続	0	0			0							0	34	1	5	40	0	3	0	2	5					1	44	45			
	実施中	0	0			0							3	0	1	0	4	1	1	0	0	2					5	1	6			
	未着手	5	0			5							3	2	0	0	5	2	4	0	0	6					10	6	16			
	その他	0	0			0							0	0	1	0	1	0	0	0	0	0					1	0	1			
	着手率	0%	100%			55%							86%	96%	100%	100%	94%	33%	67%	100%	100%	70%					72%	92%	86%			
	完了・継続率	0%	100%			55%							73%	96%	75%	100%	89%	0%	58%	100%	100%	60%					58%	91%	80%			
山 の 手 地 域 中 央	全事業数	27	9			36							17	45	19	22	103			9	3	12					72	79	151			
	完了	11	4			15							5	10	5	9	29			2	0	2					23	23	46			
	継続	0	5			5							2	35	2	10	49			1	1	2					5	51	56			
	実施中	2	0			2							1	0	0	0	1			0	0	0					3	0	3			
	未着手	12	0			12							9	0	4	2	15			6	2	8					31	4	35			
	その他	2	0			2							0	0	8	1	9			0	0	0					10	1	11			
	着手率	52%	100%			65%							47%	100%	64%	90%	84%			33%	33%	33%					50%	95%	75%			
	完了・継続率	44%	100%			59%							41%	100%	64%	90%	83%			33%	33%	33%					45%	95%	73%			
山 の 手 地 域 西 部	全事業数	13	5			18							9	15	13	5	42			10	7	17					45	32	77			
	完了	3	1			4							7	3	8	0	18			8	3	11					26	7	33			
	継続	2	2			4							0	12	0	5	17			0	4	4					2	23	25			
	実施中	1	0			1							0	0	3	0	3			2	0	2					6	0	6			
	未着手	7	1			8							2	0	2	0	4			0	0	0					11	1	12			
	その他	0	1			1							0	0	0	0	0			0	0	0					0	1	1			
	着手率	46%	75%			53%							78%	100%	85%	100%	90%			100%	100%	100%					76%	97%	84%			
	完了・継続率	38%	75%			47%							78%	100%	62%	100%	83%			80%	100%	88%					62%	97%	76%			
共 通	全事業数			8	12	20	19	5	36	7	40	9	116										6	2	8		109	35	144			
	完了			0	0	0	2	0	10	0	18	6	36										2	0	2		32	6	38			
	継続			0	10	10	4	3	5	7	4	2	25										0	2	2		13	24	37			
	実施中			8	2	10	7	2	18	0	7	0	34										4	0	4		44	4	48			
	未着手			0	0	0	5	0	2	0	11	0	18										0	0	0		18	0	18			
	その他			0	0	0	1	0	1	0	0	1	3										0	0	0		2	1	3			
	着手率			100%	100%	100%	72%	100%	94%	100%	73%	100%	84%										100%	100%	100%		83%	100%	87%			
	完了・継続率			0%	83%	50%	33%	60%	43%	100%	55%	100%	54%										33%	100%	50%		42%	88%	53%			
合 計	全事業数	73	31	8	12	124	19	5	36	7	40	9	116	64	146	88	57	355	9	16	21	13	59	6	2	8	17	4	21	381	302	683
	完了	31	18	0	0	49	2	0	10	0	18	6	36	36	31	43	21	131	5	7	12	4	28	2	0	2	11	2	13	170	89	259
	継続	2	11	0	10	23	4	3	5	7	4	2	25	2	111	4	30	147	0	3	1	7	11	0	2	2	0	0	22	186	208	30
	実施中	4	0	8	2	14	7	2	18	0	7	0	34	4	0	5	1	10	1	1	2	0	4	4	0	4	1	0	1	61	6	67
	未着手	34	1	0	0	35	5	0	2	0	11	0	18	21	3	13	3	40	3	4	6	2	15	0	0	0	5	2	7	100	15	115
	その他	2	1	0	0	3	1	0	1	0	0	1	3	1	1	23	2	27	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	28	6	34	
	着手率	52%	97%	100%	100%	71%	72%	100%	94%	100%	73%	100%	84%	67%	98%	80%	95%	88%	67%	73%	71%	85%	74%	100%	100%	100%	71%	50%	67%	72%	95%	82%
	完了・継続率	46%	97%	0%	83%	60%	33%	60%	43%	100%	55%	100%	54%	60%	98%	72%	93%	85%	56%	67%	62%	85%	67%	33%	100%	50%	65%	50%	62%	54%	93%	72%

※「実施状況別割合」は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

※着手率や完了・継続率の算出にあたり、全事業数から「その他」を除いた事業数を母数としています。

表5 令和7年度末時点（見込みを含む）の特定事業等の進捗状況整理表（事業実施時期が「短期」「中期」「継続」の事業）

地区	事業状況	公共交通特定事業				道路特定事業						建築物特定事業				都市公園特定事業				交通安全特定事業		その他の事業			合計		実施状況別割合							
		鉄道		バス		国道		都道		区道		公共施設		民間施設		都立		区立		ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード		ソフト						
		ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト	ハード	ソフト																	
都心地域	全短・中期事業数	8	3			11						6	11	19	14	50			3				9	2	11	42	33	75						
	完了	8	1			9						3	2	15	7	27			3				7	1	8	33	14	47						
	継続	0	2			2						0	9	1	7	17			0				0	0	0	1	18	19						
	実施中	0	0			0						0	0	0	0	0			0				0	0	0	0	0	0						
	未着手	0	0			0						3	0	3	0	6			0				2	1	3	8	1	9						
	その他	0	0			0						0	0	0	0	0			0				0	0	0	0	0	0						
	短・中期着手率	100%	100%			100%						50%	100%	84%	100%	88%			100%				78%	50%	73%	81%	97%	88%						
	短・中期完了・継続率	100%	100%			100%						50%	100%	84%	100%	88%			100%				78%	50%	73%	81%	97%	88%						
下町隣接地域	全短・中期事業数	2	2			4						9	30	9	4	52							4	1	5	24	37	61						
	完了	2	0			2						5	7	9	1	22							4	1	5	20	9	29						
	継続	0	2			2						0	21	0	3	24							0	0	0	0	26	26						
	実施中	0	0			0						0	0	0	0	0							0	0	0	0	0	0						
	未着手	0	0			0						4	1	0	0	5							0	0	0	4	1	5						
	その他	0	0			0						0	1	0	0	1							0	0	0	0	1	1						
	短・中期着手率	100%	100%			100%						56%	97%	100%	100%	90%							100%	100%	100%	83%	97%	92%						
	短・中期完了・継続率	100%	100%			100%						56%	97%	100%	100%	90%							100%	100%	100%	83%	97%	92%						
山の手地域東部	全短・中期事業数											15	44	4	9	72			3	12	2	3				24	68	92						
	完了											13	9	2	4	28			0	4	2	1				17	18	35						
	継続											0	34	1	5	40			0	3	0	2				1	44	45						
	実施中											1	0	1	0	2			1	1	0	0				3	1	4						
	未着手											1	1	0	0	2			2	4	0	0				3	5	8						
	その他											0	0	0	0	0			0	0	0	0				0	0	0						
	短・中期着手率											93%	98%	100%	100%	97%			33%	67%	100%	100%				88%	93%	91%						
	短・中期完了・継続率											87%	98%	75%	100%	94%			0%	58%	100%	100%				75%	91%	87%						
山の手地域中央	全短・中期事業数	9	9			18						8	45	11	20	84					9	3				37	77	114						
	完了	9	4			13						3	10	5	8	26					2	0				19	22	41						
	継続	0	5			5						2	35	2	10	49					1	1				5	51	56						
	実施中	0	0			0						0	0	0	0	0					0	0				0	0	0						
	未着手	0	0			0						3	0	0	1	4					6	2				9	3	12						
	その他	0	0			0						0	0	4	1	5					0	0				4	1	5						
	短・中期着手率	100%	100%			100%						63%	100%	100%	95%	95%					33%	33%				73%	96%	89%						
	短・中期完了・継続率	100%	100%			100%						63%	100%	100%	95%	95%					33%	33%				73%	96%	89%						
山の手地域西部	全短・中期事業数	3	4			7						9	15	6	5	35					9	7				27	31	58						
	完了	1	1			2						7	3	6	0	16					7	3				21	7	28						
	継続	2	2			4						0	12	0	5	17					0	4				2	23	25						
	実施中	0	0			0						0	0	0	0	0					2	0				2	0	2						
	未着手	0	1			1						2	0	0	0	2					0	0				2	1	3						
	その他	0	0			0						0	0	0	0	0					0	0				0	0	0						
	短・中期着手率	100%	75%			86%						78%	100%	100%	100%	94%					100%	100%				93%	97%	95%						
	短・中期完了・継続率	100%	75%			86%						78%	100%	100%	100%	94%					78%	100%				85%	97%	91%						
共通	全短・中期事業数					10	10	10	3	12	7	24	8		64								2	2		46	30	76						
	完了					0	0	2	0	7	0	18	6		33								0	0		27	6	33						
	継続					10	10	4	3	5	7	4	2		25								2	2		13	24	37						
	実施中					0	0	2	0	0	0	2	0		4								0	0		4	0	4						
	未着手					0	0	2	0	0	0	0	0		2								0	0		2	0	2						
	その他					0	0	0	0	0	0	0	0		0								0	0		0	0	0						
	短・中期着手率					100%	100%	80%	100%	100%	100%	100%	100%		97%									100%	100%		96%	100%	97%					
	短・中期完了・継続率					100%	100%	60%	100%	100%	100%	92%	100%		91%									100%	100%		87%	100%	92%					
合計	全短・中期事業数	22	18			10	50	10	3	12	7	24	8	64	47	145	49	52	293	3	15	20	13	51	2	2	13	3	16	200	276	476		
	完了	20	6			0	26	2	0	7	0	18	6	33	31	31	37	20	119	0	7	11	4	22	0	0	11	2	13	137	76	213		
	継続	2	11			10	23	4	3	5	7	4	2	25	2	111	4	30	147	0	3	1	7	11	2	2	0	0	22	186	208			
	実施中	0	0			0	0	2	0	0	0	2	0	4	1	0	1	0	2	1	1	2	0	4	0	0	0	0	0	9	1	10		
	未着手	0	1			0	1	2	0	0	0	0	0	2	13	2	3	1	19	2	4	6	2	14	0	0	2	1	3	28	11	39		
	その他	0	0			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1	6	0	0	0	0	0				0	0	4	2	6		
	短・中期着手率	100%	94%			100%	98%	80%	100%	100%	100%	100%	100%	97%	72%	99%	93%	98%	93%	33%	73%	70%	85%	73%			100%	100%	85%	67%	81%	86%	96%	92%
	短・中期完了・継続率	100%	94%			100%	98%	60%	100%	100%	100%	92%	100%	91%	70%	99%	91%	98%	93%	0%	67%	60%	85%	65%			100%	100%	85%	67%	81%	81%	96%	90%

※「実施状況別割合」は、小数点以下第1位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。
 ※着手率や完了・継続率の算出にあたり、全事業数から「その他」を除いた事業数を母数としています。

2.1.8 完了した事業

特定事業等のうち、令和7年度末時点（見込みを含む）で完了した事業（259事業）について以下に整理しました。

(1) 公共交通特定事業

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
①	都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅	都心地域	トイレ	トイレの洋式化、ベビーチェアの増設	ハード
			案内設備	C2 出入口の音声案内設置	ハード
				エスカレーターの設置状況のわかりやすい表示	ソフト
②	東京メトロ 有楽町線 江戸川橋駅	山の手 地域西部	通路/ ホーム	駅構内の十分な照度の確保	ハード
			上下 移動	エレベーター内の鏡の改修	ハード
			案内 設備	出入口への音声案内又は触知案内板の設置	ハード
				地上へのエレベーターのわかりやすい案内表示の設置	ソフト
③	東京メトロ 丸ノ内線 御茶ノ水駅	都心地域	ホーム	ホームドアへの点字表示方法の改善	ソフト
				ベンチの増設	ハード
			券売機 等	点字運賃表への視覚障害者誘導用ブロックの敷設	ハード
			トイレ	多機能トイレへの荷物台や低い位置への荷物掛けの設置	ハード
			案内 設備	わかりやすい案内表示への改善（出入口・エレベーター・幅広改札）	ソフト
				音声案内の設置	ハード
				手すりへの案内表示の改善（点字・墨字）	ソフト
④ ⑤	都営地下鉄 三田線・大江 戸線 春日駅	都心地域	上下 移動	エレベーターの増設（三田線目黒方面ホーム～地上）	ハード
			トイレ (三田線)	出入口の段差解消（スロープ化）、トイレの洋式化、簡易型多機能便房の設置、ベビーチェアの増設など	ハード
			トイレ (大江戸線)	トイレの洋式化、ベビーチェアの増設	ハード
			案内 設備	バリアフリールートや乗換経路等のわかりやすい案内表示	ソフト

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
	東京メトロ 丸ノ内線・南 北線 後樂園 駅	都心地域	案内 設備	わかりやすい案内表示への改 善(バリアフリー経路・設備・ トイレ等)	ソフト
				乗換のバリアフリー経路に関 する案内表示の設置	ソフト
			人的 対応	無人改札口の問合せ対応強化 (触知案内図整備等)	ハード
			車両	十分な広さの車いすスペース を確保した車両への代替	ハード
	東京メトロ 有楽町線 護国寺駅	山の手 地域中央	全体	駅構内の十分な照度の確保	ハード
			上下 移動	エレベーターへの足元まで見 える鏡の設置	ハード
				エレベーターの増設	ハード
				エスカレーターを設置(1番 出入口~改札階)	ハード
			トイレ	多機能トイレの案内表示の改 善	ソフト
案内 設備	触知案内図の更新	ハード			
	1番出口外についているエレ ベーター出入口案内の内容の 改善	ソフト			
	東京メトロ 丸ノ内線 新大塚駅	山の手 地域中央	ホーム	構内の十分な照度の確保	ハード
			案内 設備	案内表示の改修	ソフト
	都営地下鉄 三田線 水道橋駅	都心地域	出入口 ・通路	視覚障害者誘導用ブロックの 配置見直し・補修	ハード
			トイレ	出入口の段差解消(スロープ 化)、トイレの洋式化、簡易型 多機能便房の設置、ベビーク ェアの増設など	ハード
	都営地下鉄 三田線 千石駅	山の手 地域東部	ホーム	通路が狭くなる箇所における 掲示等の改善の検討	ソフト
			券売機等	点字運賃表の位置の改善の検 討	ソフト
			案内 設備	改札口からエレベーターへの わかりやすい案内表示の設置 の検討	ソフト
	東京メトロ 千代田線 千駄木駅	下町隣接 地域	ホーム	ホームドアの設置	ハード
	東京メトロ 千代田線 根津駅	下町隣接 地域	ホーム	ホームドアの設置	ハード

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
14	都営地下鉄 三田線 白山駅	山の手 地域東部	上下 移動	エレベーター横の点字案内の 位置の改善の検討	ソフト
			トイレ	点字案内の位置の改善の検討	ソフト
			案内 設備	バリアフリー化された出口が わかる案内の表示の検討	ソフト
16	都営地下鉄 大江戸線 本郷三丁目駅	都心地域	トイレ	トイレの洋式化、ベビーチェ アの増設	ハード
18	東京メトロ 丸ノ内線 茗荷谷駅	山の手 地域中央	上下 移動	階段への通行区分サインの設 置	ハード
			ホーム	緊急停止ボタンの増設の検討	ハード
			トイレ	トイレの洋式化	ハード
			案内 設備	自動旅客案内装置の増設	ハード
				内容がよりわかりやすい電光 掲示板への改修	ハード
	エレベーターへのわかりやす い案内表示の設置	ソフト			
19	東京メトロ 千代田線 湯島駅	都心地域	ホーム	ホームドアの設置	ハード

(2) 道路特定事業

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
国道 17 号 (本郷通り)	山の手 地域東部	整備	中央分離帯への視覚障害者誘 導用ブロックの敷設	ハード
国道 254 号 (春日通り)	山の手 東・中 地域共通	整備	中央分離帯への視覚障害者誘 導用ブロックの敷設	ハード
都道 8 号 (目白通り)	山の手 地域共通	整備	視覚障害者誘導用ブロックの 設置	ハード
			歩道の勾配の緩和	ハード
			歩道橋設置箇所における歩道 の幅員確保	ハード
			歩車道境界部における適切な 段差への改善	ハード
都道 301 号 (白山通り)	都心地域	整備	移動等円滑化基準に適合した 道路の整備 (交差点部の勾配 の緩和、視覚障害者誘導用ブ ロックの敷設等)	ハード
		整備/ 安全対策	自転車通行空間の整備	ハード

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
都道 437 号 (不忍通り)	山の手 地域共通	整備	無電柱化事業にあわせたバリアフリー化（段差解消・勾配の緩和等）(文京区音羽 2 丁目～目白台 2 丁目)	ハード
			第三護国寺前歩道橋への両側手すりの設置の検討	ハード
		安全対策	第三護国寺前歩道橋周辺の安全対策の検討	ハード
都道 452 号 (大観音通り)	山の手 地域東部	整備	無電柱化事業にあわせたバリアフリー化（向丘 1 丁目）	ハード
区道 870 号	下町隣接 地域	案内 設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内表示の設置	ソフト
区道 889 号	都心地域	案内 設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内表示の設置	ソフト
区道 890 号	都心地域	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
区道 892 号	都心地域	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
		案内 設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内表示の設置	ソフト
区道 900 号 (蔵前橋通り)	都心地域	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
区道 982 号	下町隣接 地域	整備	道路整備事業等にあわせた歩道のバリアフリー化（段差や勾配の改善、幅員構成の見直し、視覚障害者誘導用ブロックの設置）の推進	ハード
		案内 設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内表示の設置	ソフト
区道千文 3 号(御茶ノ水橋)	都心地域	整備	お茶の水橋の補修補強工事とあわせた駅側の歩道幅員の拡幅	ハード
区道 869 号	下町隣接 地域	整備	道路整備事業等にあわせた幅員構成の再検討、及びコミュニティ道路の整備	ハード
区道 808 号	都心地域	整備	自転車通行空間の整備	ハード
区道文台 3 号	下町隣接 地域	整備	道路整備事業にあわせた幅員構成の見直し	ハード
区道 889 号	山の手 西・中 地域共通	案内 設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内標示の設置	ソフト

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
区道 892 号	山の手 地域東部	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
		案内設備	多様な利用者に配慮した見やすくわかりやすい案内標示の設置	ソフト
区道 893 号	山の手 地域中央	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置及び JIS 規格に適合したブロックへの更新	ハード
		安全対策	坂道への助け合いの意識を喚起する標識や勾配の案内の設置	ハード
区道 158 号・156 号・164 号・163 号・899 号	山の手 地域中央	安全対策	坂道への助け合いの意識を喚起する標識や勾配の案内の設置	ハード
区道 843 号	山の手 地域中央	整備	道路整備事業等にあわせた歩道のバリアフリー化（段差や勾配の改善、幅員構成の見直し）の推進	ハード
区道 844 号	山の手 地域中央	整備	道路整備事業等にあわせた歩道のバリアフリー化（段差や勾配の改善、幅員構成の見直し）の推進	ハード
区道 901 号	山の手 地域中央	整備	道路整備事業にあわせた歩道のバリアフリー化（段差や勾配の改善、幅員構成の見直し、視覚障害者誘導用ブロックの設置）の推進	ハード
区道 11 号・898 号	山の手 地域西部	安全対策	坂道への助け合いの意識を喚起する標識や勾配の案内の設置	ハード
区道 841 号	山の手 地域西部	整備	道路整備事業にあわせた歩道のバリアフリー化（段差や勾配の改善、幅員構成の見直し）の推進	ハード
区道 894 号	山の手 地域東部	整備	道路整備事業等にあわせたコミュニティ道路の整備（歩道の設置等）	ハード

(3) 建築物特定事業

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
①	文京シビックセンター・シビックホール	都心地域	トイレ	オストメイト、ベビーチェア、ベビーベッドの増設や多目的トイレの自動扉化などトイレのバリアフリー化の推進	ハード
			その他設備	(シビックホール)シビックチケットへの荷物置場等の設置	ハード
③	大原地域活動センター	山の手地域東部	人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
④	大塚地域活動センター	山の手地域中央	人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
⑤	音羽地域活動センター・介護老人保健施設音羽えびすの郷	山の手地域中央	人的対応心のバリアフリー	(音羽地域活動センター)筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
⑥	湯島地域活動センター・総合体育館	下町隣接地域	案内設備	大きくわかりやすい案内表示やサインの適切な位置への設置	ソフト
			総合体育館出入口	インターホンが押しやすい椅子等の配置の工夫	ソフト
⑦	向丘地域活動センター・アカデミー向丘	山の手地域東部	出入口・敷地内通路	敷地境界へのミラーの設置	ハード
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
⑧	不忍通りふれあい館(根津地域活動センター・根津図書室)	下町隣接地域	トイレ	トイレ出入口へのスロープ設置	ハード
				トイレ外部への段差注意喚起の表示	ソフト
			案内設備	受付への筆談具の配置	ソフト
⑩	駒込地域活動センター	下町隣接地域	トイレ	一般トイレの洋式トイレへの改修	ハード
⑫	千駄木交流館	下町隣接地域	出入口・敷地内通路	段差の解消	ハード
			トイレ	一般トイレの洋式トイレへの改修	ハード

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
13	目白台総合センター（目白台交流館・目白台第二児童館）	山の手地域西部	トイレ	（目白台第二児童館） トイレの洋式化	ハード
14	根津総合センター（根津交流館・根津児童館）	下町隣接地域	トイレ	（根津交流館） 一般トイレの洋式トイレへの改修	ハード
17	湯島総合センター（湯島第二会館・文京福祉センター湯島・湯島児童館・湯島図書館）	都心地域	建物内通路	職員による案内の実施	ソフト
			トイレ	多機能トイレ・一般トイレ設備のバリアフリー化	ハード
			案内設備	バリアフリー設備等の情報がわかる案内図の設置	ソフト
18	駕籠町会館	山の手地域東部	全体	大規模改修工事におけるバリアフリー化	ハード
19	男女平等センター	山の手地域東部	トイレ	一般トイレの洋式化	ハード
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具の設置	ソフト
20	区民センター	山の手地域東部	建物内通路	段差解消のためのスロープ設置（保育園側出入口付近）	ハード
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
21	大塚公園集会所・大塚公園みどりの図書室	山の手地域中央	案内設備	バリアフリー設備への音声案内や触知案内図の設置	ハード
			案内設備	多様な利用者に対応した案内表示、案内図の設置	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	（大塚公園みどりの図書室） 筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
22	勤労福祉会館（本郷福祉センター（若駒の里）・本駒込図書館）	下町隣接地域	案内設備	バリアフリー設備や非常時の経路等情報がわかる案内図などの設置	ソフト
23	小石川郵便局	山の手地域中央	建物内通路	チラシ置き場の転倒防止及び移設等による通路の安全性の確保	ソフト
			案内設備	各窓口の対応業務などがわかる案内板の設置	ソフト
			案内設備	駐輪場へ誘導する案内表示の設置	ソフト
			その他設備	ATM前への整列案内の表示	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具及び耳マークの設置	ソフト

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
①	文京総合福祉センター（障害者支援施設・障害者基幹相談支援センター・文京福祉センター江戸川橋・子育てひろば江戸川橋など）	山の手地域中央	出入口・敷地内通路	視覚障害者誘導用ブロックを避けた位置への足ふきマットの設置	ソフト
			案内設備	案内表示の設置	ソフト
⑥	文京白山高齢者在宅サービスセンター・高齢者あんしん相談センター富坂・文京白山の郷	山の手地域東部	人的対応心のバリアフリー	コミュニケーション支援ボードや筆談用具を設け、設置を示す案内を表示	ソフト
⑦	文京向丘高齢者在宅サービスセンター	下町隣接地域	人的対応心のバリアフリー	コミュニケーション支援ボードや筆談用具を設け、設置を示す案内を表示	ソフト
⑧	文京本郷高齢者在宅サービスセンター	山の手地域東部	人的対応心のバリアフリー	コミュニケーション支援ボードや筆談用具を設け、設置を示す案内を表示	ソフト
②⑨	小日向台町児童館	山の手地域中央	トイレ	トイレの洋式化	ハード
③②	子育てひろば西片	山の手地域東部	出入口・敷地内通路	施設玄関の電子錠化による施設利用時間内の門扉の解放（門扉開閉の負担軽減）	ハード
③	東京健生病院	山の手地域中央	建物内通路	高齢者、障害者等に配慮した適切な照度の確保（照明のLED化）	ハード
			上下移動	階段への手すりの設置（壁側）	ハード
			案内設備	案内表示の設置（多機能トイレ、エレベーター）	ソフト
⑤	日本医科大学付属病院	下町隣接地域	出入口・敷地内通路	歩道上から案内施設までのスロープの設置、及び視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			建物内通路	段差へのスロープの設置	ハード
			上下移動	車いす使用者に配慮したエレベーターの設置	ハード
				階段の両側への手すりの設置、及び段鼻の色の強調	ハード
			トイレ	多様な利用者に配慮した多機能トイレの設置	ハード
一般トイレの広めの個室ブースの設置	ハード				

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
5	日本医科大学付属病院	下町隣接地域	駐輪場・駐車場	基準適合した障害者用駐車施設の設置	ハード
			案内設備	建物入口にバリアフリー施設の位置がわかる視覚障害者用案内板の設置	ソフト
			その他設備	授乳室の設置 ベンチの設置	ハード ハード
7	東京大学医学部附属病院	下町隣接地域	トイレ	大規模改修にあわせたトイレ設備の改善	ハード
			駐車場	出入口付近への障害者用駐車場の設置	ハード
9	順天堂大学医学部附属順天堂医院	都心地域	出入口・敷地内通路	歩道上空地(一部は公開空地)による敷地周辺歩道の拡幅	ハード
				外堀通り沿いに緑地帯を整備(B棟から大学10号館までの敷地周辺歩道)	ハード
			上下移動	エレベーターへの視聴覚障害者対応設備の設置	ハード
				1号館エスカレーターを遅くするための架け替え 1号館エスカレーターに注意喚起のためのベルトサイン(英語表記含む)の取付け	ハード ハード
その他設備	利用者の安全確保のための監視カメラと緊急呼出設備の設置(屋上庭園)	ハード			
1	文京区教育センター	下町隣接地域	案内設備	色や形に配慮した施設名表示の工夫	ソフト
4	拓殖大学(文京キャンパス)	山の手地域中央	建物内通路	視覚障害者誘導用ブロックを避けた位置への足ふきマットの設置位置の改善	ソフト
			トイレ	多機能トイレへの荷物台・荷物掛けの設置	ハード
			案内設備	多機能トイレへのオストメイト対応設備の案内表示	ソフト
8	東洋学園大学(本郷キャンパス)	都心地域	上下移動	エレベーターの車いす対応への改修(4号館)	ハード
				エレベーターに障害者が優先的に利用できるような案内を表示(4号館)	ソフト
			トイレ	一般トイレの改修(和式→洋式)(4号館)	ハード
			その他設備	貸出用車いすの設置	ソフト

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業系統
8	東洋学園大学 (本郷キャンパス)	都心地域	出入口・敷地内通路	出入口のスロープの改修(4号館)	ハード
9	日本女子大学 (目白キャンパス)	山の手地域西部	建物内通路	基準適合したスロープへの改修(香雪館)	ハード
				既存スロープの勾配の改善(七十年館)	ハード
			上下移動	エレベーターの設置(香雪館)	ハード
			トイレ	車いす対応トイレの増設(百年館)	ハード
10	文京学院大学 (本郷キャンパス)	山の手地域東部	出入口・敷地内通路	生涯学習センター出入口の段差への注意喚起の表示	ソフト
			上下移動	階段への連続した手すりの設置・更新	ハード
			案内設備	バリアフリールートへのわかりやすい案内表示の設置	ソフト
				キャンパスガイドへのバリアフリー情報の表記	ソフト
				利用者にわかりやすい案内表示の総合的な検討	ソフト
14	貞静学園短期大学	山の手地域中央	トイレ	車いすトイレの非常ボタンへの点字表示	ソフト
				温水洗浄便座の設置の検討	ハード
			案内設備	非常口への誘導灯や標識の適切な設置方法の検討	ハード
19	アカデミー音羽	山の手地域中央	トイレ	洋式化など、トイレのバリアフリー化の推進	ハード
			案内設備	わかりやすく、利用しやすい案内表示への改修	ソフト
20	アカデミー千石・千石図書館	山の手地域東部	出入口・敷地内通路	視覚障害者誘導用ブロックの連続設置(歩道から門まで)	ハード
				敷地内通路の舗装の改善	ハード
			建物内通路	手すり端部の安全対策(2階通路)	ハード
				窓口への視覚障害者誘導用ブロックの連続設置	ハード
				十分な幅員の確保	ハード
			トイレ	多機能トイレへの荷物台・荷物掛けの設置	ハード
				一般トイレ内の段差の解消	ハード
				トイレの洋式化	ハード
上下移動	階段の上下端への視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード			

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
20	アカデミー千石・千石図書館	山の手地域東部	案内設備	手すりへの点字表示	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
22	真砂中央図書館	山の手地域東部	人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
23	小石川図書館	山の手地域中央	トイレ	トイレの洋式化	ハード
			案内設備	全体案内図の改修	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
24	水道端図書館	山の手地域西部	トイレ	トイレの洋式化	ハード
			人的対応心のバリアフリー	「よむべえ」(音声・拡大読書器)、筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト
25	目白台図書館	山の手地域西部	建物内通路	JIS 規格に適合した視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			上下移動	視覚障害者誘導用ブロックの敷設方法の改善	ハード
			トイレ	多機能トイレの手すりの改善	ハード
				トイレの洋式化	ハード
			案内設備	書架サインの改修	ソフト
			その他設備	カウンターの改修	ハード
人的対応心のバリアフリー	筆談用具、拡大鏡、杖ホルダーの設置	ソフト			
29	史跡湯島聖堂財団法人斯文会	都心地域	出入口	西門から大成殿前の段差解消(文化財のため改修は行わず、仮設スロープの設置で対応)	ハード
			敷地内通路	会館内通路上の物品の除去による十分な幅員の確保(120cm)	ソフト
			案内設備	コミュニケーションボードや筆談具の設置	ソフト
38	東京ドーム(野球殿堂博物館含む)	都心地域	上下移動	階段の段鼻の強調(屋外部)	ハード
				後楽園駅前歩道橋階段部への視覚障害者誘導用ブロック(点状)の設置(人工地盤への階段)	ハード
			案内設備	屋外案内サインの整備(外国語対応・ピクトグラム)	ソフト

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
38	東京ドーム (野球殿堂博物館含む)	都心地域	その他 設備	車いす用観客席からの観覧しやすさの向上	ハード
				車いす用観客席の増設	ハード
40	文京スポーツセンター	山の手 地域中央	全体	大規模改修工事におけるバリアフリー化	ハード
42	江戸川橋体育館	山の手 地域中央	案内 設備	オストメイト対応の案内表示の設置	ソフト
2	文京グリーンコート	山の手 地域東部	敷地内 通路	視覚障害者誘導用ブロックの設置の検討	ハード
				舗装の補修	ハード
3	ラクーア	都心地域	建物内 通路	敷地入口からバリアフリーエレベーターまでの視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
				目の細かいグレーチングへの更新(後楽園駅側バリアフリーエレベーター誘導路)	ハード
			上下 移動	エレベーターへの点字表示(後楽園側バリアフリーエレベーターカゴ内)	ソフト
			トイレ	一般トイレ個室ブース内への低い位置の荷物かけの設置	ハード
			案内 設備	案内サインの整備(外国語対応、ピクトグラム等)	ソフト
6	ホテル椿山荘東京	山の手 地域西部	上下 移動	エレベーターのバリアフリー化(車いす使用者対応の操作ボタン・足元まで見える鏡の設置等)	ハード
			トイレ	男女共用トイレの設置	ハード
			客室	ユニバーサルルームの出入口の拡幅及び扉の改修	ハード
				ユニバーサルルームの適切な照度の確保	ハード
9	ホテル機山館	山の手 地域東部	上下 移動	エレベーターのバリアフリー化(点字表示)	ハード

(4) 都市公園特定事業

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
①	六義園	山の手地域東部	案内設備	わかりやすい案内表示への改善（字の大きさ、トイレへの誘導など）	ソフト
				案内パンフレットの表示方法の見直し	ソフト
				悪路対応車いすの貸出に関する案内表示の設置	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	コミュニケーション支援ボードや筆談用具の設置及び耳マークの表示	ソフト
③	肥後細川庭園	山の手地域西部	園路	主要な園路の傾きや段差の解消	ハード
④	目白台運動公園	山の手地域西部	管理棟	階段の手すりの取替	ハード
				階段蹴上げ部分の安全対策（つまずき防止）の実施	ハード
				案内板の改修（凡例の明記、点字シールの貼付）	ソフト
				筆談用具及び耳マークの設置	ソフト
			トイレ	多機能トイレの扉の改修	ハード
				移乗手すりの移設	ハード
ごみ入れの移動	ソフト				
⑤	江戸川公園	山の手地域西部	出入口	車止めの再配置（西側出入口）	ハード
			園路	主要な園路の傾きや段差の解消（東側出入口付近、西側出入口～トイレは短期的に対応）	ハード
				トイレ	だれでもトイレの設置
⑥	小石川後楽園	都心地域	園路	工事等の仮園路におけるバリアフリーへの配慮	ハード
			トイレ	涵徳亭内トイレの改修	ハード
			休憩施設	状況に応じたベンチの配置	ハード
			案内設備	高齢者・障害者等に配慮した園内案内の改善（受付・トイレ案内等）	ソフト
				トイレへの音声案内設置	ハード
				耳マークの表示	ソフト
			人的対応心のバリアフリー	高齢者・障害者等に配慮した案内（ソフト対策）の充実（パンフレットやWEBページ等）	ソフト
その他設備	涵徳亭入口スロープへの柵の設置（建物内部）	ハード			

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
8	教育の森公園・占春園	山の手地域中央	園路	(教育の森公園) 主要な園路のバリアフリー化	ハード
			トイレ	(教育の森公園) だれでもトイレの設置	ハード
9	六義公園・六義公園運動場	山の手地域東部	出入口/園路	(六義公園) 視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			トイレ	(六義公園) トイレの建替にあわせただれでもトイレの整備	ハード
			案内設備	(六義公園) よりわかりやすい案内表示の設置	ソフト

(5) 交通安全特定事業

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
全体	都心・下町共通	信号機等	標識、標示の高輝度化や信号機のLED化	ハード
全体	山の手地域共通	信号機等	標識、標示の高輝度化や信号機のLED化	ハード

(6) その他の事業

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
後楽公園	都心地域	園路	小石川後楽園方面への車いす使用者に配慮した園路の舗装や案内表示	ハード
		トイレ	多機能トイレへのこども用便座の設置	ハード
		案内設備	出入口付近に小石川後楽園への案内の設置	ソフト
礫川公園	都心地域	上下移動	階段の始末端部への視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
		園路	トイレ前の勾配の改善	ハード
須藤公園	下町隣接地域	出入口	出入口の改修（段差や勾配の解消、幅員の確保、視覚障害者誘導用ブロックの設置）	ハード
		園路	十分な幅員の確保	ハード
		トイレ	トイレの洋式化及びだれでもトイレの設置	ハード
		休憩施設	ベンチ等の設置	ハード
		案内設備	大きくわかりやすい案内表示の設置	ソフト
御茶の水橋際公衆便所	都心地域	トイレ	開閉しやすい扉への改善	ハード
船河原橋際公衆便所	都心地域	トイレ	トイレの洋式化及びだれでもトイレの設置	ハード
後楽橋際公衆便所	都心地域	トイレ	トイレの洋式化及びだれでもトイレの設置	ハード

2.1.9 未完了事業とその要因

地区別計画にて実施時期を【短期】【中期】とした特定事業等のうち、令和7年度末時点（見込みを含む）で未完了であった事業（46事業）と主な要因を以下に示します。

(1) 道路特定事業

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
国道17号 (本郷通り)	都心・ 下町共通	整備/ 安全対策	自転車通行空間の整備	ハード
国道254号 (春日通り)	都心地域	整備/ 安全対策	自転車通行空間の整備	ハード
国道17号(本郷通り、 白山通り、旧白山通り)	山の手 地域東部	整備	歩きやすい舗装への改善(本郷通り)	ハード
			大規模改修時のセミフラット化	ハード
区道836号	都心地域	整備	連続的な視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
区道834号	都心地域	整備	道路整備事業等にあわせた歩道のバリアフリー化(段差や勾配の改善、幅員構成の見直し、視覚障害者誘導用ブロックの設置)の推進	ハード

(2) 建築物特定事業

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
⑥	湯島地域活動センター・総合体育館	下町隣接地域	出入口・敷地内通路	出入口への音声案内の設置	ハード
			案内設備	トイレへの音声案内や触知案内図の設置	ハード
⑧	不忍通りふれあい館(根津地域活動センター・根津図書室)	下町隣接地域	その他設備	サービスコーナーの改良(通路の幅員確保・車いす使用者が接近しやすい構造)	ハード
⑩	駒込地域活動センター	下町隣接地域	トイレ	段差の解消	ハード
⑮	白山東会館・白山東児童館	山の手地域東部	トイレ	(白山東児童館)トイレの洋式化	ハード

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
17	湯島総合センター（湯島第二会館・文京福祉センター湯島・湯島児童館・湯島図書館）	都心地域	出入口・敷地内通路	道路から出入口の位置がわかるような案内表示・音声案内の設置	ハード
				歩道上から出入口、建物内の案内施設まで連続した視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			上下移動	階段部手すりの安全な処理	ハード
23	小石川郵便局	山の手地域中央	その他設備	高齢者に配慮した高さのいすの設置	ソフト
9	順天堂大学医学部附属順天堂医院	都心地域	トイレ	多機能トイレの扉を自動ドア化（B棟、C棟）	ハード
10	文京学院大学（本郷キャンパス）	山の手地域東部	建物内通路	共用廊下への人感センサーによる照明設備の設置	ハード
20	アカデミー千石・千石図書館	山の手地域東部	トイレ	多機能トイレのL字型手すりの設置位置の改善	ハード
			その他設備	背もたれのある椅子の設置	ソフト
23	小石川図書館	山の手地域中央	トイレ	非常呼出ボタン及び警報ランプの設置	ハード
				非常事態を聴覚障害者等に伝えるフラッシュライト等の設置	ハード
			案内設備	出入口やトイレ、エレベーター等への音声案内の設置	ハード
25	目白台図書館	山の手地域西部	出入口・敷地内通路	JIS規格に適合した視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			トイレ	非常事態を聴覚障害者等に伝えるフラッシュライト等の設置	ハード
36	森鷗外記念館	下町隣接地域	案内設備	敷地内での車いす使用者用駐車場への案内表示の設置	ソフト

(3) 都市公園特定事業

凡例	事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
①	六義園	山の手 地域東部	出入口	道路から出入口の位置がわかるような案内表示・音声案内の設置の検討（道路管理者との連携）	ハード
			トイレ	トイレの改修にあわせたバリアフリー化（トイレの前の勾配の緩和、多機能トイレの改修等）	ハード
			案内 設備	トイレの音声案内の内容の見直しの検討	ソフト
				触知案内板の設置の検討及び音声案内の設置の必要性を含めた検討	ハード
				わかりやすい案内板の設置検討	ソフト
				多言語対応の音声ガイドの導入の必要性を含めた検討	ソフト
			その他 設備	園内マップの点字パンフレットの設置の必要性を含めた検討	ソフト
点字表示による案内の設置検討	ソフト				
②	大塚公園	山の手 地域中央	出入口/ 園路	歩道上から主要な園路及び階段部への視覚障害者誘導用ブロックの設置	ハード
			出入口	がたつきのない舗装への改修	ハード
			園路	階段の両側への手すりの設置	ハード
				スロープの勾配の緩和	ハード
			トイレ	建替工事にあわせたトイレのバリアフリー化（扉の改良、JIS規格に適合した物の配置等）	ハード
				案内図やわかりやすい案内表示の設置	ソフト
				目隠し用の壁の設置	ハード
			案内 設備	バリアフリー化された経路やバリアフリー設備等の情報がわかる案内図やわかりやすい案内表示の設置	ソフト
④	目白台運動公園	山の手 地域西部	出入口	歩道上から出入口まで視覚障害者誘導用ブロックの設置（道路管理者と連携）	ハード
			園路	排水溝部への車いすで通れる平坦部の確保	ハード

(4) その他の事業

事業箇所	地域	項目	事業内容	事業システム
後楽公園	都心地域	出入口	歩道から出入口、主要な施設まで連続した視覚障害者誘導用ブロックの敷設	ハード
		休憩施設	夏季における日陰の確保及びベンチの設置	ハード
		案内設備	視覚障害者に対応したトイレ案内の設置	ソフト
礪川公園	都心地域	案内設備	大きくわかりやすい案内表示の設置	ソフト

(5) 未完了の主な要因

<事業実施方法の検討>

- ・設置可否検討中。(建築物)
- ・解消方法について検討中。(建築物) など

<予算の確保>

- ・予算の都合により、事業実施が困難なため。(建築物) など

<事業実施時期の変更>

- ・警視庁の協議及び工事を継続実施中。(道路)
- ・一部区間については、実施済み。残区間について、今後も順次行っていく。(道路) など

<関連事業等の影響>

- ・公園の改修工事にあわせて対応する予定であり、順次、事業を進めているため。(公園)
- ・令和7年8月からの施設全体の改修工事にて実施予定(令和8年6月末まで工事実施)。(建築物) など

2.2 心のバリアフリーワークショップ

現行基本構想の検討を始めて以降、区のバリアフリーに関する取組の周知及び心のバリアフリーの啓発を目的に、文京総合福祉センター祭りにおいて、心のバリアフリーワークショップを実施しています。

心のバリアフリーワークショップでは、障害の疑似体験や当事者との対話、当事者インタビュー動画の視聴等を通じて心のバリアフリーに関する理解促進を図るとともに、基本構想に関する展示や、啓発用パンフレットの配布を行い、参加者からの意見や感想を収集しています。

表6 心のバリアフリーワークショップの実施概要（中間評価以降）

日程	実施内容	意見数
令和4年 11月6日	①障害体験クイズ ・ 障害当事者インタビューの動画の視聴 ②心のバリアフリーの木 ・ 基本構想の展示への意見や動画視聴をして気づいたこと、心のバリアフリーについて感じたことを付箋に記入・掲示	165件
令和5年 11月5日	①障害体験スタンプラリー ・ 高齢者や障害者（福祉用具・自助具体験、手話体験）の疑似体験、障害当事者インタビュー等の動画の視聴 ②心のバリアフリーの木 ・ 基本構想の展示への意見や障害体験をして気づいたこと、心のバリアフリーについて感じたことを付箋に記入・掲示	194件
令和6年 11月3日	①障害体験スタンプラリー ・ 高齢者や障害者（福祉用具・自助具体験、手話体験）の疑似体験、障害当事者インタビュー等の動画の視聴 ②心のバリアフリーの木 ・ 基本構想の展示への意見や障害体験をして気づいたこと、心のバリアフリーについて感じたことを付箋に記入・掲示	222件
令和7年 11月2日 (予定)	①障害体験スタンプラリー ・ 高齢者や障害者（見えない体験、手話体験）の疑似体験、障害当事者インタビュー等の動画の視聴 ②心のバリアフリーの木 ・ 基本構想の展示への意見や障害体験をして気づいたこと、心のバリアフリーについて感じたことを付箋に記入・掲示	—

※毎回共通して、基本構想の取組や心のバリアフリーに関するポスター展示、パンフレットの配布を実施しました。

※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から文京総合福祉センター祭りが中止となったため、心のバリアフリーワークショップも実施していません。

表7 心のバリアフリーワークショップの主な意見（中間評価以降）

項目	意見内容
全体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害当事者のお話を伺う機会はあまりないため、貴重な経験になった。 ・ 障害のある方が共生できる社会に、自分や子どもがどう貢献できるのかを考えていくきっかけになった。 ・ コンパクトに様々な知識を得られることが出来、とても有意義だった。 ・ 区の取組を知らなかったが、色々と勉強になった。
上映会 （障害当事者へのインタビュー 動画の視聴）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多様な障害当事者のそれぞれの生活や、私たちに伝えたいことなど、具体的に知ることができて良かった。当事者が困っている場面では手助けしたい。 ・ 当事者の話を実際に聞くのは大切なことだと実感した。 ・ とても充実した内容で大変勉強になった。もっと色々な障害の方のお話も聞きたい。 ・ 動画の内容はとても良いが、子どもには内容構成等が難しいと感じた。
福祉用具・ 自助具体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉用具や声を文字にするアプリなど、障害があってもなくても使える便利な道具だと思った。こうした身近なものをきっかけに心のバリアフリーにつながるといい。 ・ 当事者と一緒に楽しく生活するための支援について、もっと知りたい。
手話体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「あぶないですよ」や「いっしょにいきましょう」等、使えそうな手話はどんどん使ってコミュニケーションを取りたい。 ・ 手話はなかなかふれる機会がなく、少しだが教えてもらえて良かった。子どももわかりやすく良い内容だった。

心のバリアフリーワークショップでは、毎年度少しずつ方法を変えながら、障害体験の機会を設けており、意見数が増加傾向にあることや参加者の感想から、障害への理解が深まっていることがわかります。

一方で、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、当事者と関わる機会を設けることが厳しい状況となったため、当事者インタビューの上映会が実施されています。上映会は障害理解の促進に寄与していることがうかがえますが、共生社会の実現という観点から、今後、区民が当事者と直接関わる機会の創出が求められます。

また、福祉用具・自助具体験や手話体験は、道具やコミュニケーションツールを通じて、障害特性の理解や当事者の日常生活におけるバリアに気づくきっかけづくりとして有意義な取組であることがわかります。

これらを踏まえて、心のバリアフリーワークショップの取組は、障害当事者だけでなく多くの子どもや家族連れが訪れる文京総合福祉センター祭りの場を活用し、今後も継続的に実施することが求められます。

2.3 アンケート調査

現行基本構想の評価・改定に向け、区内の主要施設や交通施設等の利用状況、満足度、具体的な課題を幅広く把握するため、アンケート調査を実施しました。

2.3.1 調査概要

無作為抽出した区内在住者を対象とした区民アンケート調査に加え、区民アンケート調査では捕捉できない当事者意見を収集することを目的に、区内の障害者・高齢者団体を対象とした障害者・高齢者団体アンケート調査を実施しました。

表 8 アンケート調査の実施概要

区分	区民アンケート調査	障害者・高齢者団体アンケート調査
対象者	住民基本台帳を基に無作為抽出した区内在住者（満18歳以上）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族会 ・ 高齢者クラブ連合会 ・ 肢体障害者福祉協会 ・ 肢体不自由児者父母の会 ・ 視覚しょうがい者協会 ・ 知的障害者（児）の明日を創る会 ・ 聴覚障害者協会
調査方法	郵送配付（1,000票）・郵送回収	メール配布
回答方法	①返信用封筒にて郵送 ②Web上の回答フォーム	メール回収
回答数	298票（回答率：29.8%）	7団体（回答率：100%）
調査期間	令和7年5月～6月	令和7年5月～6月
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道駅（地下鉄）の状況 ・ 都営バスの状況 ・ コミュニティバス「Bーぐる」の状況 ・ タクシーの状況 ・ 道路の状況 ・ 横断歩道の状況 ・ 信号機の状況 ・ 施設の状況 ・ 情報バリアフリーについて ・ 心のバリアフリーについて ・ 観光のバリアフリーについて ・ バリアフリーに関する自由意見 ・ 回答者属性 	<p>左記の項目と同様 ※より具体的な内容を把握するため、回答方法を選択形式ではなく、自由記述形式を基本とした調査を実施</p>

※文京総合福祉センター及び文京福祉センター湯島においてもWebアンケートへの回答を案内しましたが、回答は得られませんでした。

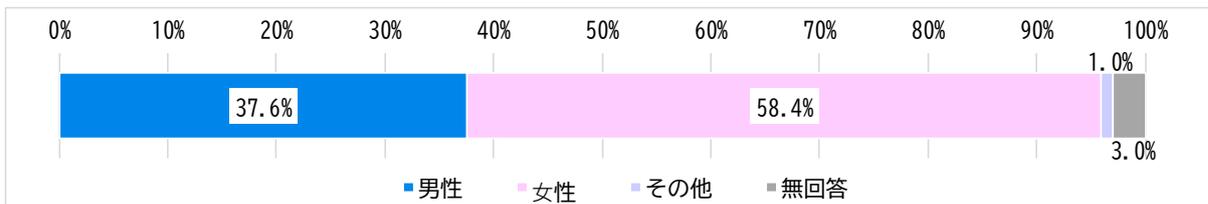
2.3.2 区民アンケート調査の結果概要

無作為抽出した区内在住者を対象とした区民アンケート調査の結果の概要を以下に示します。

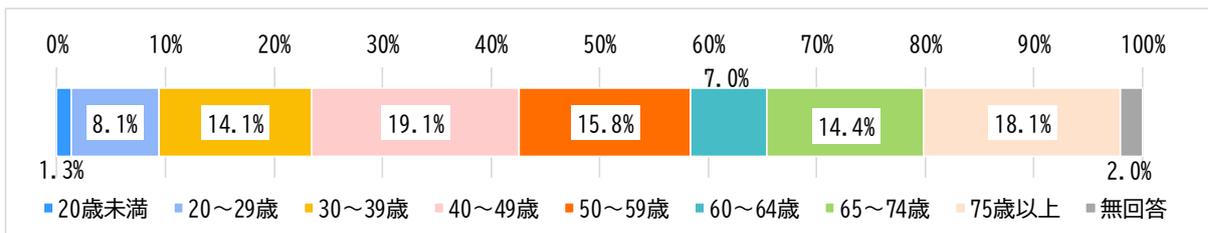
なお、事業種類別の満足度、観光のバリアフリーに関する評価、心のバリアフリーに関する認知度については、現行基本構想策定時（平成 27 年）に実施したアンケート調査結果との比較を行いました。

■ 回答者の属性

<性別>

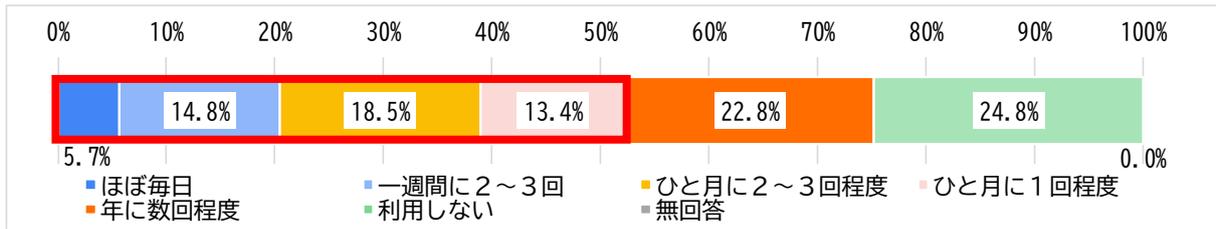


<年齢>

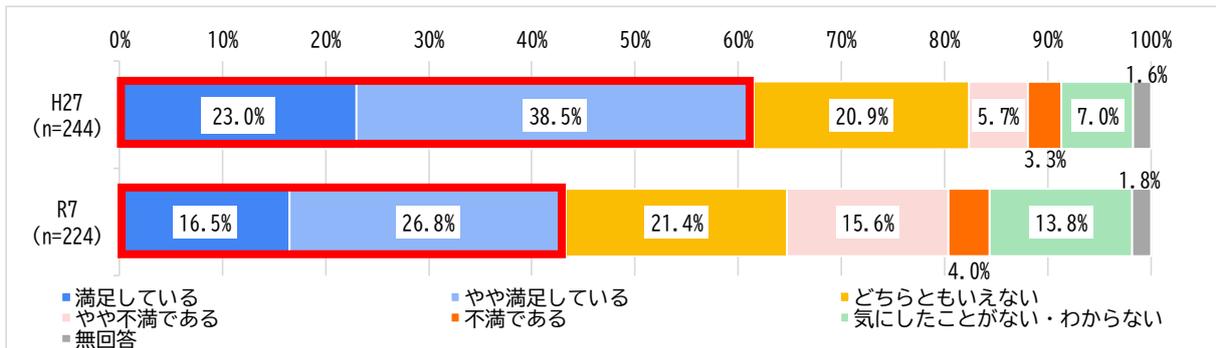


設問2 区内の【都営バス】の状況について

1) 都営バスにはどのくらい乗りますか(単一回答)。n=298



2) 都営バスについて、バリアフリーの視点から、乗り降りのしやすさ、案内のわかりやすさなどについて満足していますか(単一回答)。

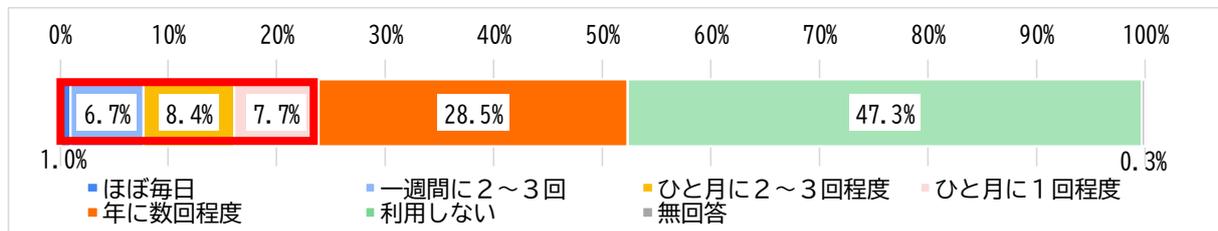


回答の傾向

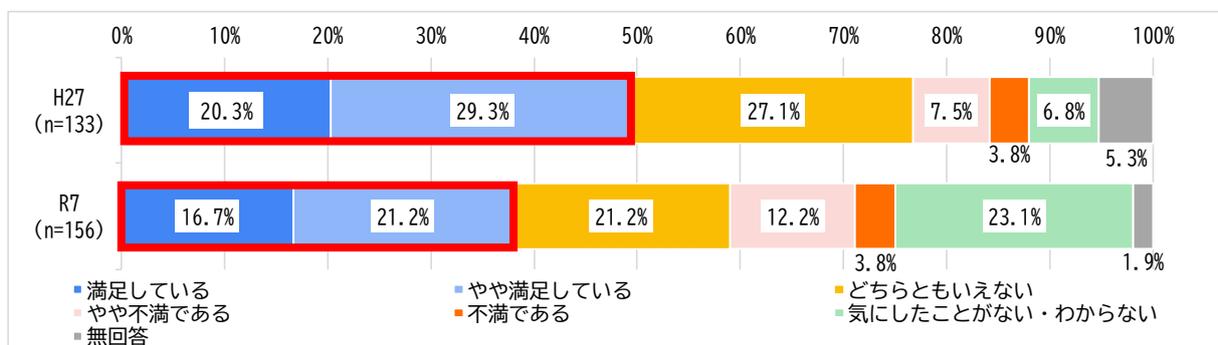
- ・回答者の半数以上が月に1回程度以上都営バスを利用しており、週2~3回程度以上の日常利用は2割程度である。
- ・回答者の4割以上が都営バスの乗り降りのしやすさ、わかりやすさに満足している。
- ・10年前と比較すると満足していると答えた回答者は、18.2%減少した。

設問3 区内の【コミュニティバス「Bーぐる」】の状況について

1) コミュニティバス「Bーぐる」にはどのくらい乗りますか(単一回答)。n=298



2) コミュニティバス「Bーぐる」について、バリアフリーの視点から、乗り降りのしやすさ、案内のわかりやすさなどについて満足していますか(単一回答)。

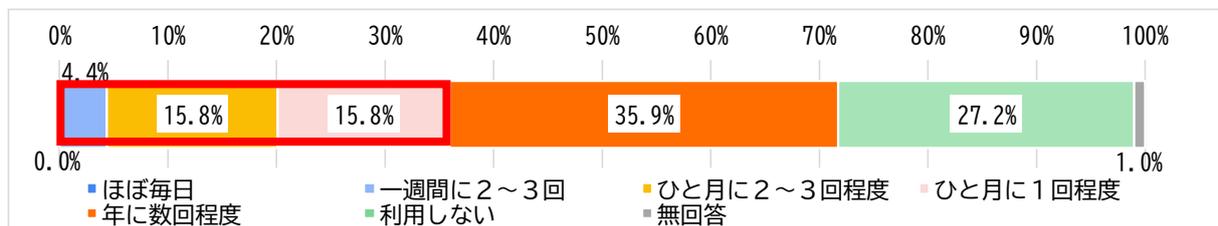


回答の傾向

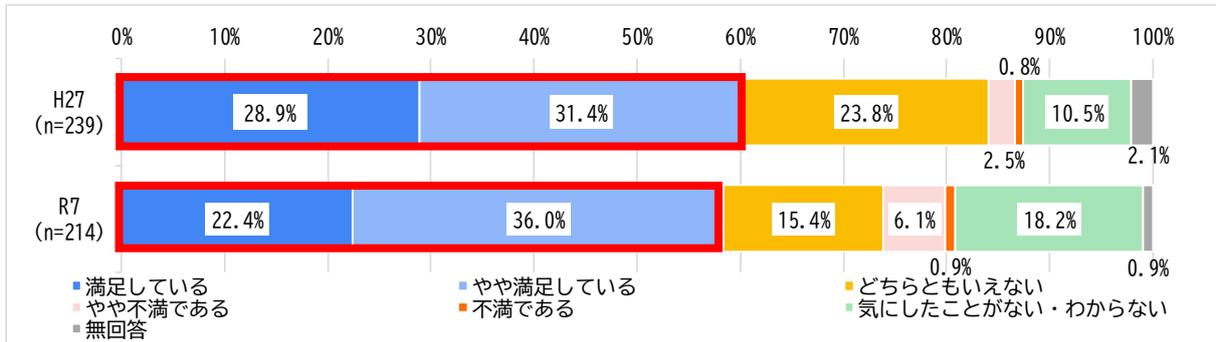
- ・回答者の2割以上が月に1回程度以上Bーぐるを利用しており、週2~3回程度以上の日常利用は約8%である。
- ・回答者の4割程度がBーぐるの乗り降りのしやすさ、わかりやすさに満足している。
- ・10年前と比較すると満足していると答えた回答者は、11.7%減少した。

設問4 区内を運行する【タクシー】の状況について

1) タクシーにはどのくらい乗りますか(単一回答)。n=298



2) タクシーについて、バリアフリーの視点から、利用しやすさについて満足していますか(単一回答)。



回答の傾向

- ・回答者の3割以上が月に1回程度以上タクシーを利用しており、週2～3回程度以上の日常利用は約4%である。
- ・回答者の半数以上がタクシーの利用しやすさに満足している。
- ・10年前と比較すると満足していると答えた回答者は、どちらも6割程度である。

■公共交通に関する主な意見

鉄道について

- ・階段・エスカレーター: 階段が多い/エスカレーターが上下両方に設置されているのが良い
- ・エレベーター: 設置場所が分かりにくい/数が少ない/本当に必要な人が使えない
- ・案内: 駅員が少ない、声掛けがない/乗換案内や運行状況の表示が分かりにくい/多言語対応が不足している
- ・その他: 可動式ホーム柵やホームドア、トイレが整備されて安心

都営バスについて

- ・乗降: 歩道から離れてバスが停まると、乗降が大変/バスの傾き停車(ニーリング)が良い
- ・停留所: 雨天時の屋根付きスペースや座れる場所が少ない/案内表示が分かりにくい
- ・対応: 車いすの人にも運転手さんが手厚く対応/ベビーカーを固定する前に発車される

コミュニティバス「Bーぐる」について

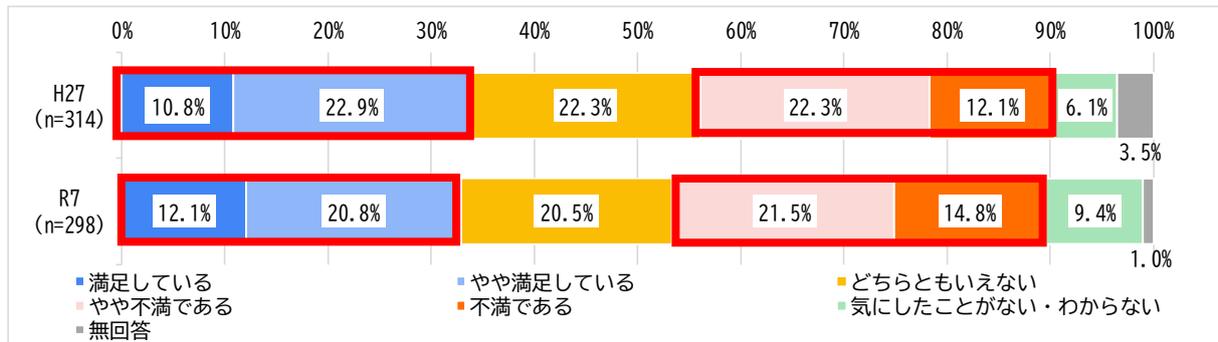
- ・停留所: バス停がどこにあるのかわかりにくい/バス停に屋根がない
- ・車両: 車内が小さく、混雑時はベビーカーや車いすでの乗車が困難

タクシーについて

- ・車両: アプリの普及で予約車が多く流しの車が見つからない/車が大きくなった
- ・対応: 以前より親切な対応が増えた/荷物やベビーカー、車いすの移動を手伝ってほしい

設問5 区内の【道路】の状況について

1)ふだんまちを利用して、区内の【道路】について、バリアフリーの視点から、歩きやすさに満足していますか(単一回答)。

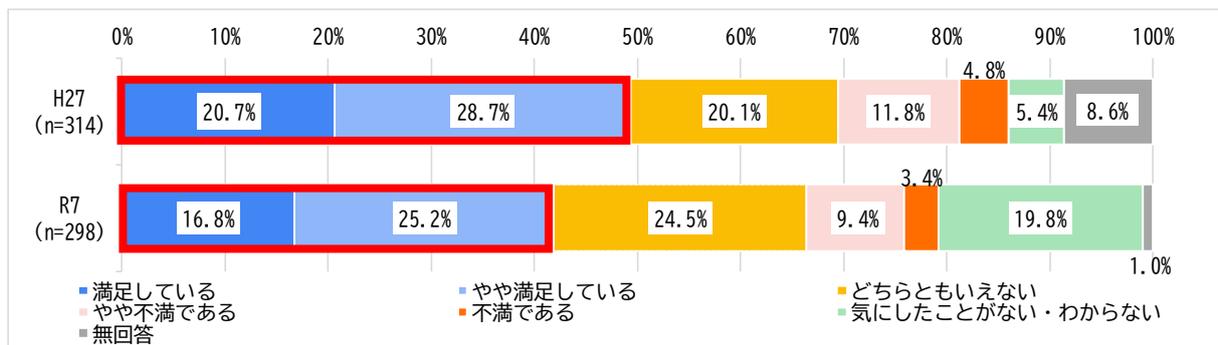


回答の傾向

- ・道路への満足度は、満足している人と不満がある人がいずれも回答者の1/3程度である。
- ・10年前と比較すると全体的に満足度合いの傾向が変わらない結果となった。

設問6 区内の【横断歩道】の状況について

1)ふだんまちを利用して、区内の【横断歩道】について、バリアフリーの視点から、安全性やわかりやすさに満足していますか(単一回答)。



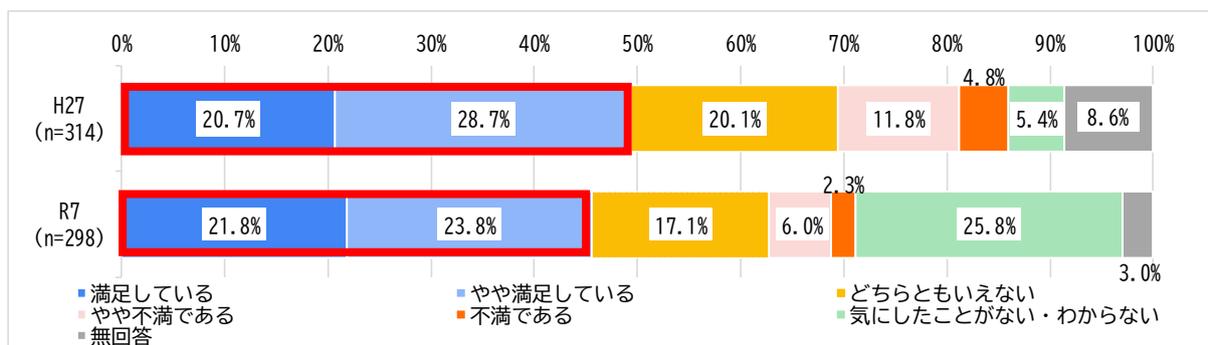
回答の傾向

- ・回答者の4割以上が横断歩道の安全性やわかりやすさに満足している。
- ・10年前と比較すると満足していると答えた回答者は、7.4%減少した。

※H27 調査は「横断歩道」「信号機」を併せた設問としていた。

設問7 区内の【信号機】の状況について

1)ふだんまちを利用して、区内の【信号機】について、バリアフリーの視点から、安全性やわかりやすさに満足していますか(単一回答)。



回答の傾向

- ・回答者の4割以上が信号機の安全性やわかりやすさに満足している。
- ・10年前と比較すると気にしたことがない・わからないと答えた回答者の増加が顕著であり、20.4%増加した。

※H27 調査は「横断歩道」「信号機」を併せた設問としていた。

■道路や横断歩道、信号機に関する主な意見

道路について

- ・道路のひび割れや凹凸が目立ち、水が溜りやすく劣化している
- ・自転車のスピードが速く、歩道を走るため危険、利用者のマナー向上が必要
- ・10年前に比べて視覚障害者誘導用ブロックや自転車専用通行帯が増えた
- ・ベビーカーでは歩きにくい

横断歩道について

- ・横断歩道が薄く、消えかかっている
- ・歩きスマホなど歩行者マナーが悪い
- ・視覚障害者対応としてエスコートゾーンの整備が必要

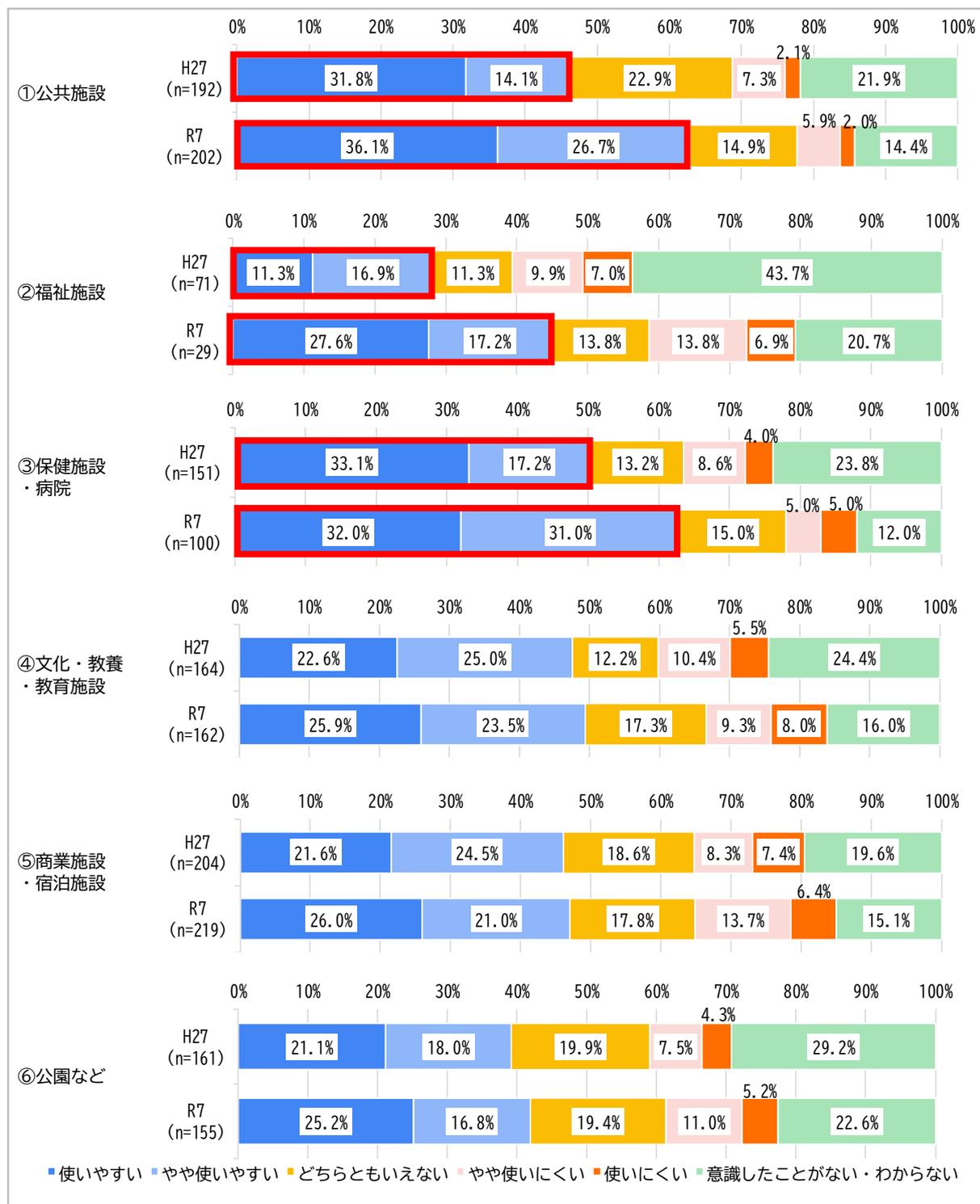
信号機について

- ・音響式信号機の音が小さく数が少ない
- ・青信号の時間が短すぎる、渡り切れない
- ・経過時間表示式信号機の設置が必要
- ・バリアフリーに配慮した信号機が増えた

設問8 区内の【施設】の状況について

1)区内の【不特定多数の人が利用する主要な施設】は、高齢者・障害者などをはじめ、妊産婦や乳幼児連れ、けが人などさまざまな人にとって使いやすいと感じますか。あなたがよく利用する施設について、その施設の使いやすさやご意見をお答えください（単一回答）。

●バリアフリーの視点からの使いやすさについて



回答の傾向

- ・R7では、施設の使いやすさについて、すべての施設カテゴリで使いやすいとの回答が最も多く4割程度以上となる。なかでも、公共施設、保健施設・病院は特に多く、6割以上が使いやすいと回答した。
- ・公共施設、福祉施設、保健施設・病院は10年前と比較すると使いやすいと答えた回答者が1割以上増加した。

■特に利用者の多い施設(10件以上)

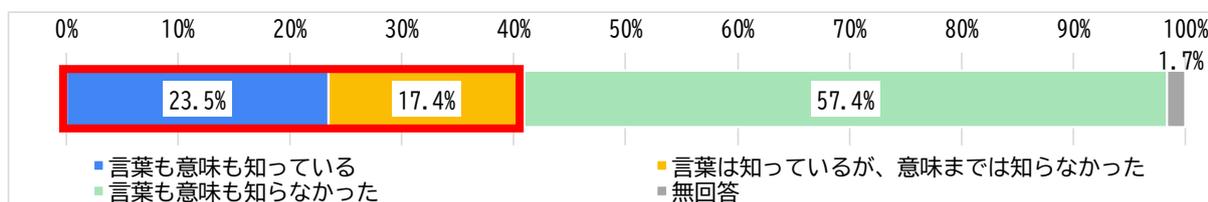
公共施設(窓口・集会)	文京区役所(シビックセンター)
保健施設・病院	日本医科大学付属病院/順天堂大学医学部附属順天堂医院/東京大学医学部附属病院
文化・教養・教育施設	根津図書室/小石川図書館/千石図書館/東京ドーム/文京スポーツセンター
商業・宿泊施設	オリンピック白山店/クイーンズ伊勢丹小石川店/ドン・キホーテ後楽園店/ラクア/文京グリーンコート
公園など	教育の森公園/江戸川公園/小石川後楽園/小石川植物園/大塚公園/肥後細川庭園/目白台運動公園/六義園

■区内の施設に関する主な意見

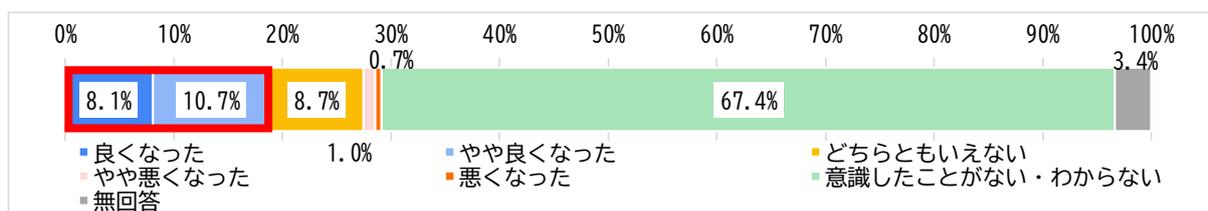
- ・古いが、車いす使用者用トイレやエレベーターなどの設備は整っている(公共施設)
- ・案内表示が少なく施設内がわかりにくい(病院)
- ・階段しかなく、足の不自由な児童などは利用できない(福祉施設)
- ・施設が古く、通路やトイレなど車いすには狭い(図書館)
- ・エレベーターの優先利用が守られていない(商業施設)
- ・車止めの間をベビーカーでは通りにくい(公園施設)

設問9【情報バリアフリー】について

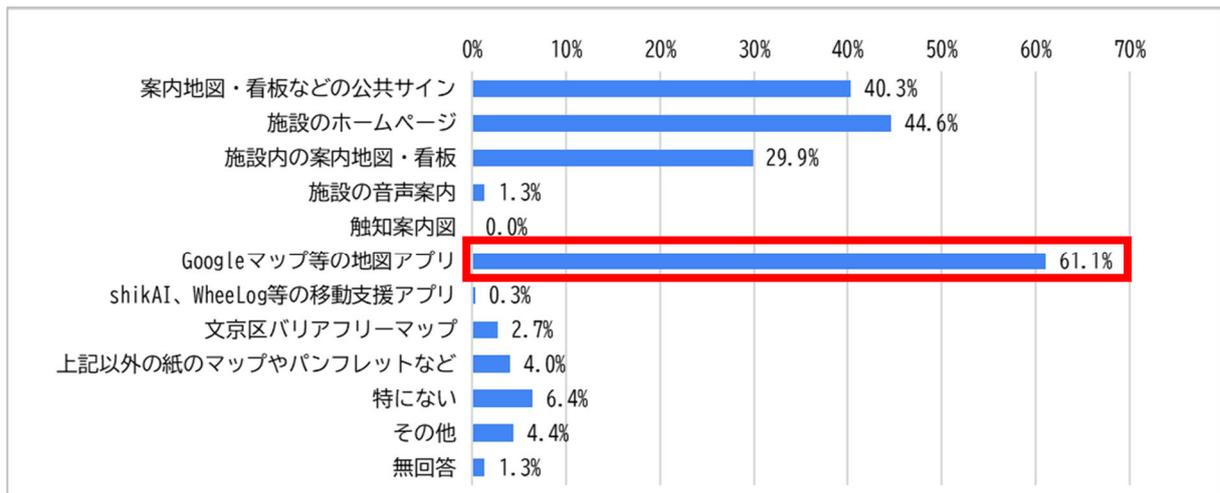
1)「情報バリアフリー」について知っていましたか(単一回答)。 n=298



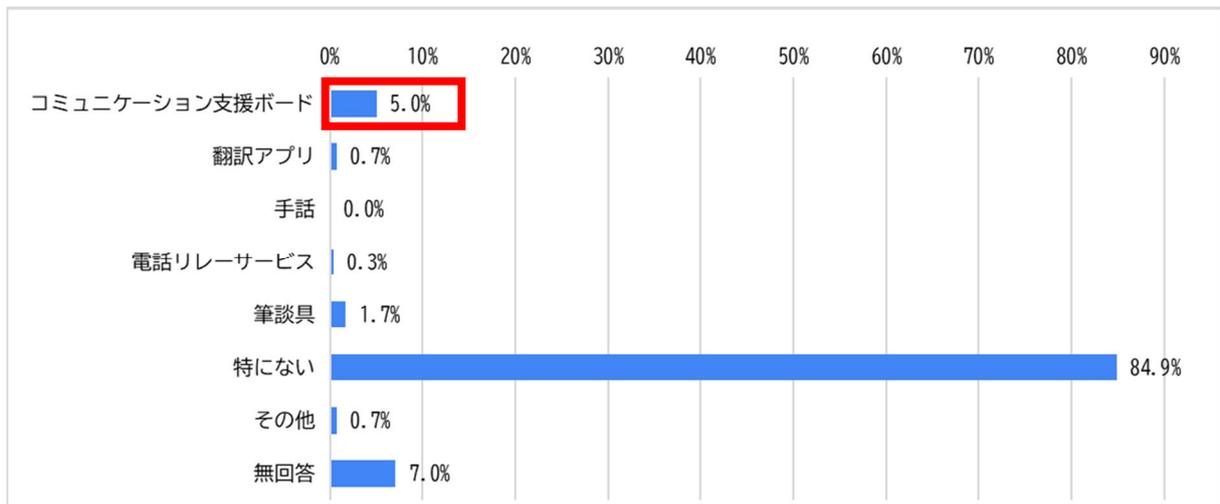
2)区内を移動したり駅や施設、公園等を利用する際の「情報バリアフリー」について、10年前と比較して良くなったと思いますか(単一回答)。 n=298



3) 区内での移動経路や施設の情報取得の際の手段は何ですか(複数回答)。n=298



4) 施設利用等で使用するコミュニケーションツールは何ですか(複数回答)。n=298



回答の傾向

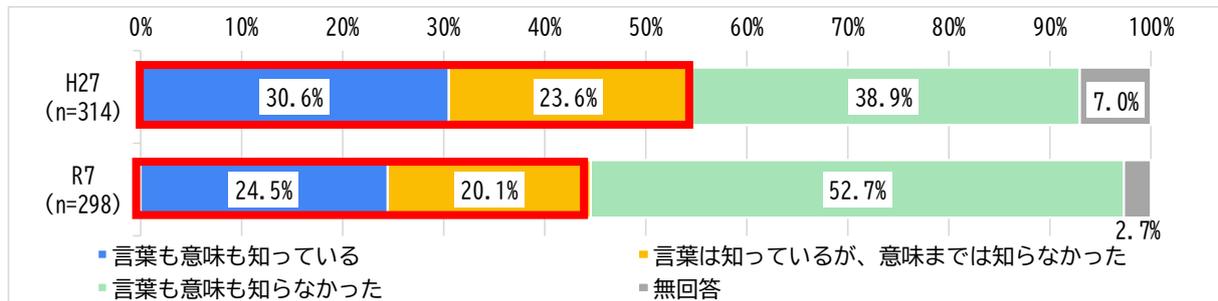
- ・回答者の4割以上が情報バリアフリーの言葉を知っていると回答した。
- ・回答者の2割程度が情報バリアフリーの10年前との比較について良くなったと回答した。
- ・移動経路や施設の情報取得の際の手段は、Google マップ等の地図アプリが最も多く、6割程度となっている。
- ・施設利用等で使用するコミュニケーションツールは、特にないを除くと、コミュニケーション支援ボードが最も多く、5.0%となっている。

■情報バリアフリーに関する主な意見

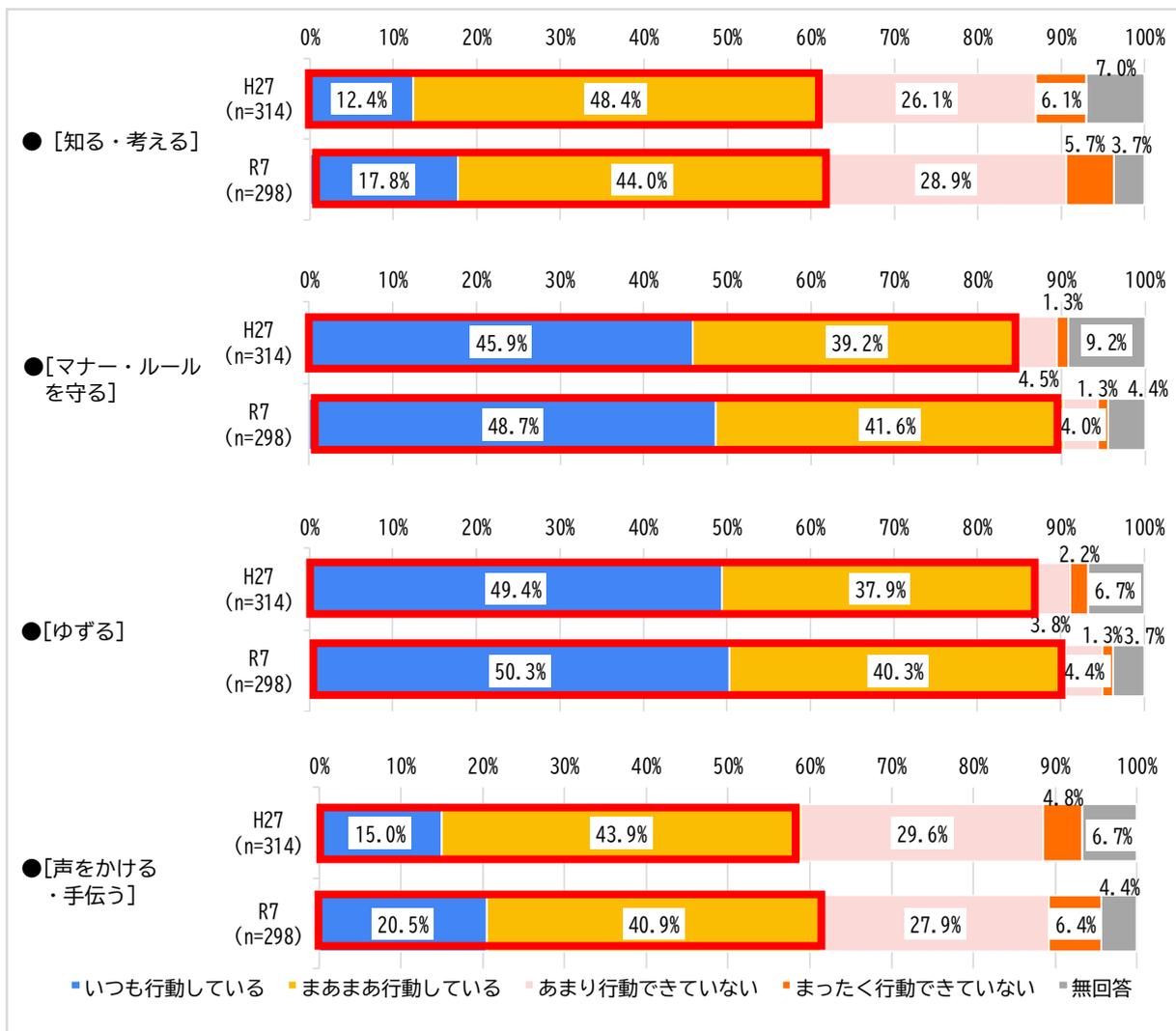
- ・施設のバリアフリー情報を事前にスマホで簡単に取得できるとよい
- ・車いす利用などの人の目線に合わせられる案内板も必要
- ・乗り継ぎ駅でのベビーカー移動がスムーズにいくよう駅に目立つ案内がほしい

設問10 【心のバリアフリー】について

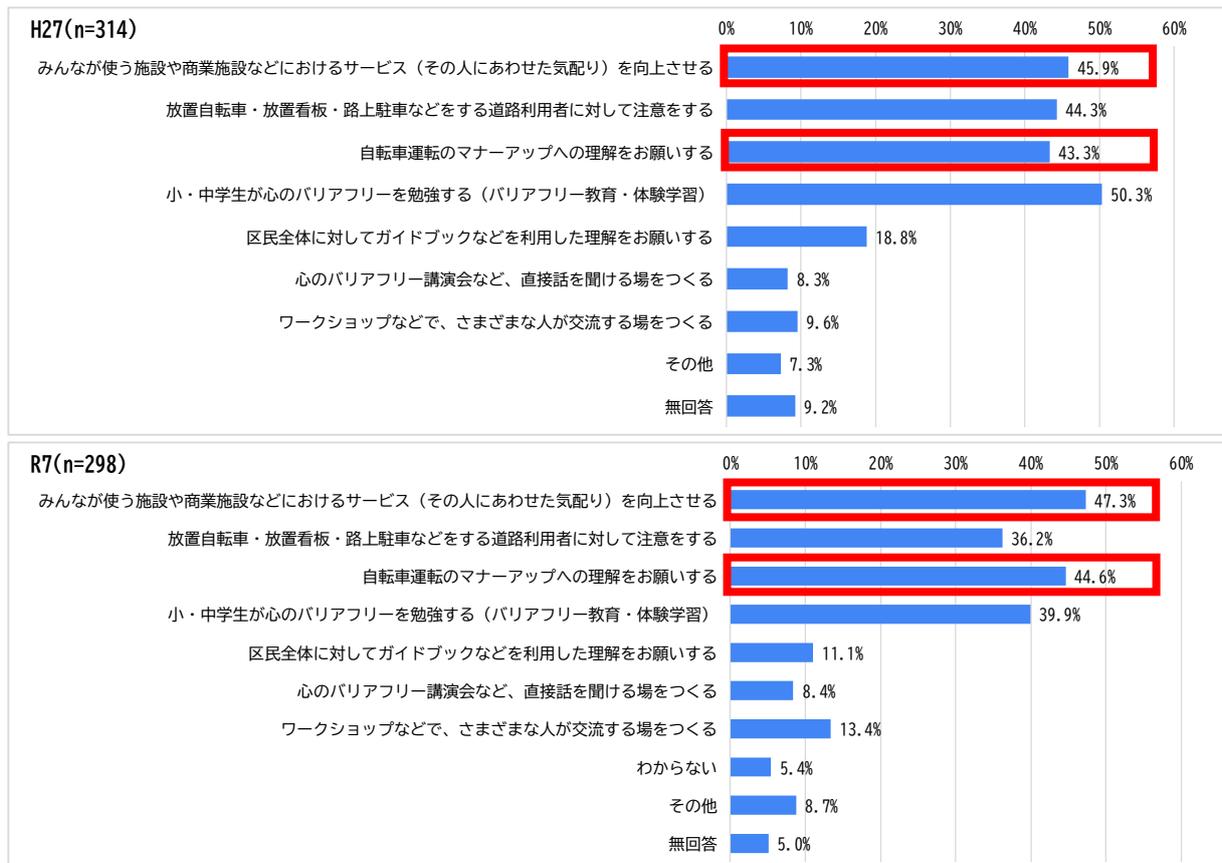
1)同封する資料(心のバリアフリーって何だろう?)を読んでお答えください。「心のバリアフリー」について知っていましたか(単一回答)。



2)あなたは「心のバリアフリー」を意識して行動していますか(単一回答)。



3)区全体で「心のバリアフリー」を進めるためには、どのような取組みが必要だと思いますか(複数回答)。



回答の傾向

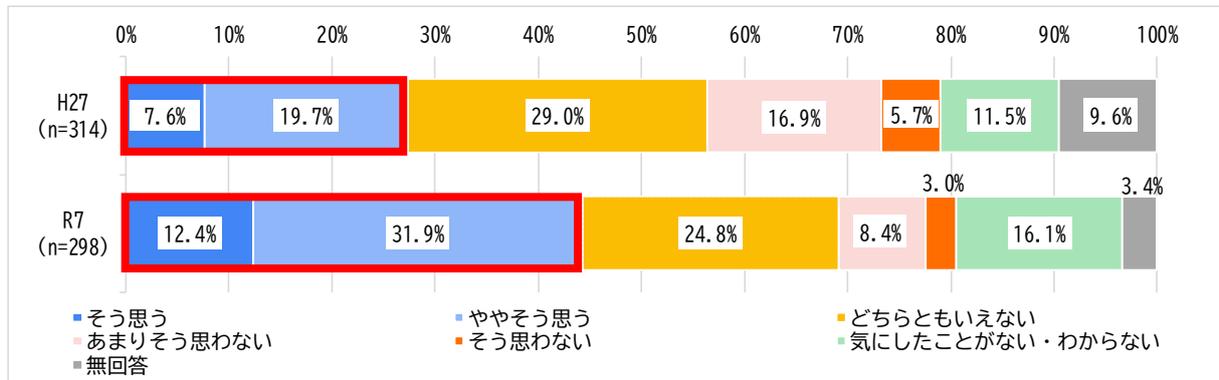
- ・回答者の4割以上が心のバリアフリーの言葉を知っていると回答した。
- ・10年前と比較すると、心のバリアフリーの言葉を知っていると答えた回答者が9.6%減少した。
- ・10年前と同様に、知る・考える、声をかける・手伝う行動について、回答者の約6割が行動している。また、マナー・ルールを守る、ゆずる行動について、回答者の約9割が行動している。
- ・10年前と同様に、4割以上の回答者が施設におけるサービスの向上や、自転車へのマナー周知を必要としている。

■心のバリアフリーに関する主な意見

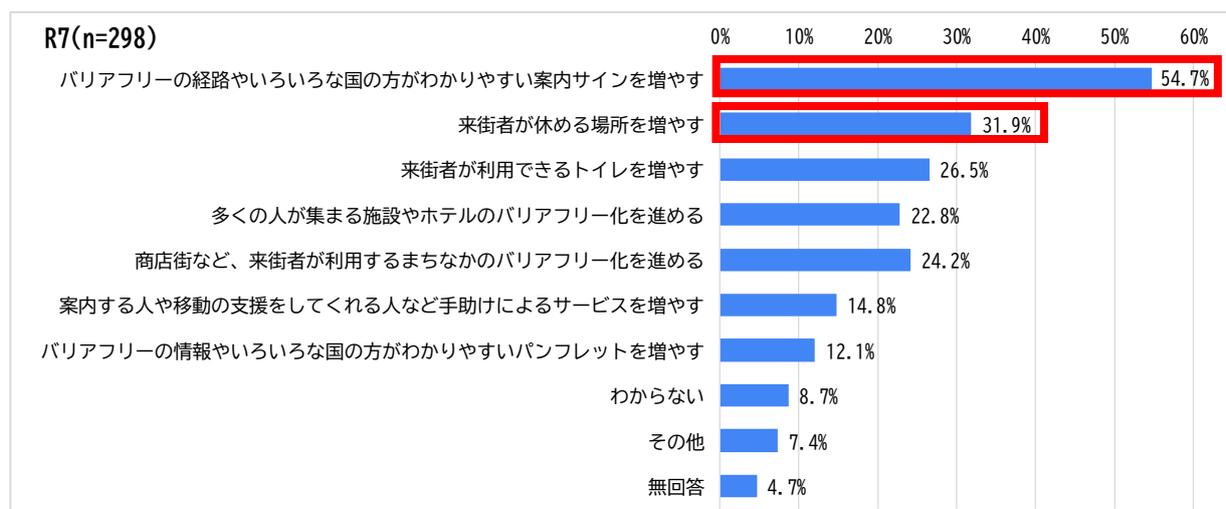
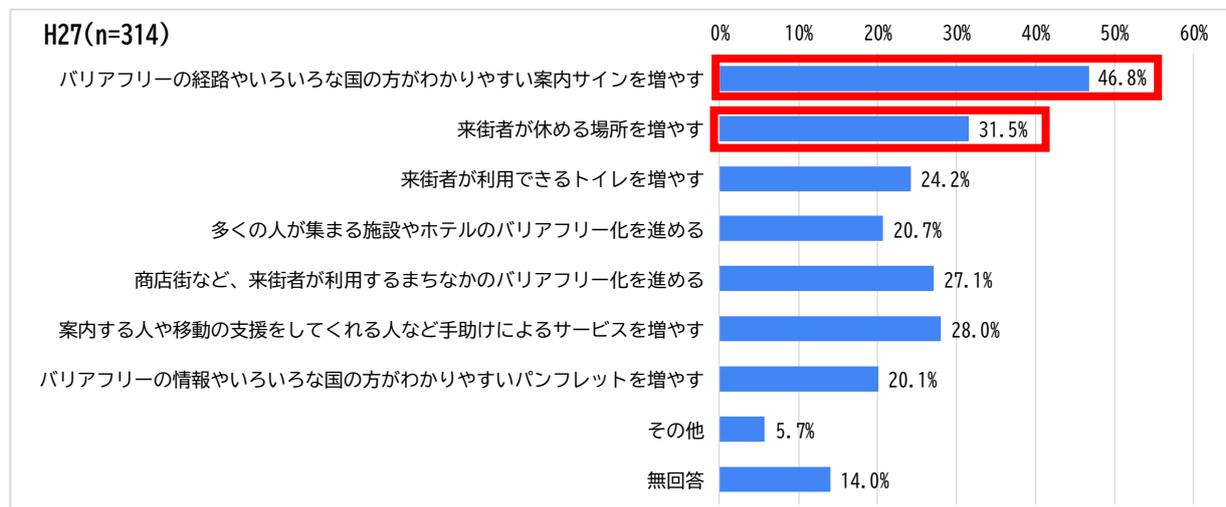
- ・自転車マナーに関して啓発活動をしてほしい
- ・ヘルプマークだけだと何に困っているかわからないので、声もかけにくい
- ・周りからは一見普通に見えても、自分が抱えている精神障害は理解してもらいにくく、困っている状況をわかってもらうのが難しい
- ・お節介にならないかと思い、ためらう
- ・区民にまだまだ心のバリアフリー、マナー、ルールが行き渡っていない

設問11 【観光のバリアフリー】について

1)区内は、高齢者・障害者・外国人などを含めたさまざまな来街者(観光などで来た人)にとってわかりやすく、安心して楽しめるまちになっていると思いますか(単一回答)。



2)区の観光のバリアフリーを進めるためには、どのような取組みが必要だと思いますか(3つまで選択可)。



回答の傾向

- ・回答者の4割以上が、区内は来街者にとってわかりやすく安心して楽しめるという回答した。
- ・10年前と比較すると、区内は来街者にとってわかりやすく安心して楽しめるという回答した割合は17.0%増加した。
- ・必要な取組としては案内サインの整備を挙げる人が半数以上と最も多く、10年前と比較すると7.9%増加した。次いで、10年前と同様に、休める場所の整備を挙げる人が3割程度であった。

■その他、バリアフリー全般に関する主な自由意見

- ・バリアフリーの内容をもっと区民に広めてほしい
- ・車いすで利用できるトイレがもう少し増えるとよいのではないと思う
- ・歩行者の多い道路では自転車専用通行帯を増やし、もう少し歩道を走行する自転車が減るとよりバリアフリーになるのではないと思う
- ・視覚障害者誘導用ブロックのない道路や舗装が凹んでいる道路、音響式信号機がない交差点は、家族としても不安が大きい
- ・エレベーターは、ベビーカーの人や杖を持つ人が優先して乗れるようにした方がいいと思う(健常者はエスカレーターor 階段)

2.3.3 障害者・高齢者団体アンケート調査の結果概要

区内において、バリアフリーの視点から感じる課題や利用しやすい点、10年前からの変化などについて、各団体から出た主な意見を以下に示します。

表 9 主な意見

団体名	意見内容
家族会	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅の窓口に駅員がいなくなったので不便を感じる。 ・青信号の長さが短いと感じる時がある。 ・高齢者や障害者にとって移動中に少しでも休める場所がほしい。 ・高齢者の自転車利用について時々危険を感じる、ぶつけられたことがある。
高齢者クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・都営地下鉄三田線はバリアフリー化が進んでない。 ・鉄道駅にエレベーターはできたが、近くにないことが多い。
肢体障害者福祉協会	<ul style="list-style-type: none"> ・小石川では、コンビニやスーパーなどの入口前に段差があり、車いすなどの人が利用出来ない。 ・歩道と車道との間の側溝は、格子の目が細くなり、杖がはまる事がなくなった。 ・最近、障害者と健常者の共生社会について、学生が中心となり1日間の体験実習を行った。障害者団体と東京法務局が協賛となり、各障害者を招いた催し物に先日参加した。心のバリアフリーに関して、とても良い取り組みであり、普及してほしい。
肢体不自由児者父母の会	<ul style="list-style-type: none"> ・出来るだけ多くのバス停にベンチや屋根を設置してほしい。 ・バス停でバスが停車した時、車両と歩道が離れていると乗り降りがしにくい。 ・不忍通りの歩道が狭い。狭い道に電柱がある場所も車いす使用者や体の不自由な人は、通行が不便である。 ・ヘルプマークを使用している人も増えたため、今後障害者の理解を進めていく事も大切である。
視覚しょうがい者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・エスカレーターに誘導チャイムではなく、上り・下りのアナウンスがあれば、迷うことが少なくなる。 ・駅構内で駅員さんを見つけることは困難である。 ・全てのバス停留所に屋根が欲しい。 ・ある日突然、歩車道の段差が無くなったことに気づき、一瞬危険を感じた。 ・エスコートゾーンが損傷したままの場所がいくつかあり、危ない。
知的障害者(児)の明日を創る会	<ul style="list-style-type: none"> ・排水のために傾斜が大きい箇所がある。 ・商業施設は、フロアが広いと方向がよくわからなくなる。 ・身体的な障害についてはわかりやすいが、知的障害・精神障害についてはわかりにくい。精神障害についての理解教育を推進してほしい。
聴覚障害者協会	<ul style="list-style-type: none"> ・通常または緊急時の構内放送の内容がわからない。 ・無人改札になると、インターホンでは応答できない。 ・鉄道駅の場合、「みどりの窓口」がどんどん減っているが、自動券売機は音声対応になっているため、対応できない。 ・公共施設には全て、自動字幕化機器をつけてもらいたい。 ・春日通りなどでは、自転車専用通行帯に駐車している車が多い。 ・青信号を渡る時、あとどのくらい青なのかがわからないと、渡り始めて渡れるかどうかわからない。あと何秒なのが表示してほしい。 ・受付窓口や支援を受ける際の受け入れ面接(インテーク)で対話が聞こえない。対話支援器と透明字幕表示装置、遠隔手話通訳があると良い。

2.4 地域懇談会

2.4.1 実施概要

(1) 目的

現行基本構想の改定に向け、現行基本構想の重点整備地区別（5地区）に、協議会の区民委員や関係団体当事者等による主要施設や交通施設等の利用状況や利用しやすさ、具体的な課題を把握することを目的としました。また、現行基本構想の計画期間（10年間）におけるバリアフリー状況の評価についても把握しました。

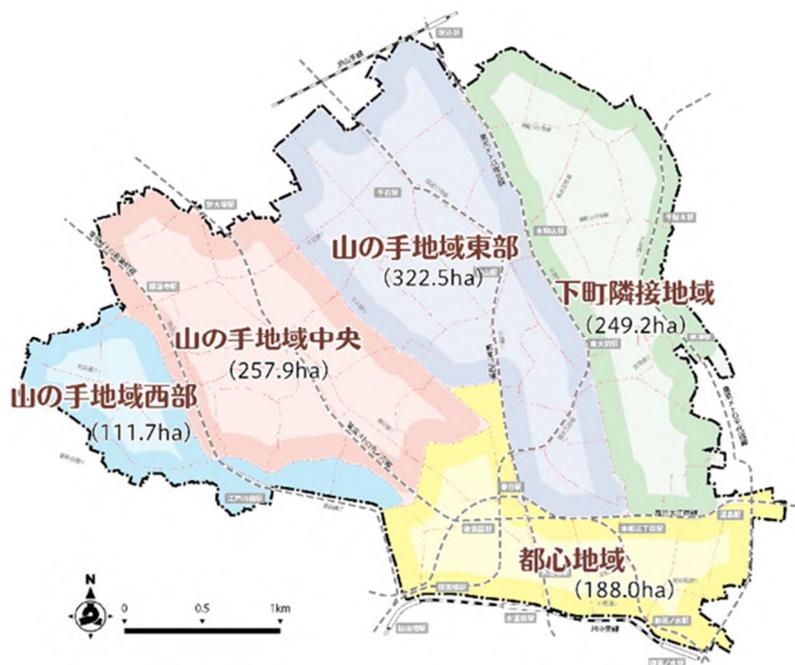


図 9 重点整備地区(5地区)

(2) 実施場所・日時

重点整備地区ごとに、以下の日程で実施しました。

表 10 実施場所・日時

重点整備地区	場所	実施日時
都心地域、下町隣接地域	文京シビックセンター21階 北側 2102・2103 会議室	6月26日(木) 10:00~12:00
山の手地域東部、山の手地域中央・西部	文京シビックセンター21階 北側 2102・2103 会議室	6月26日(木) 14:30~16:30

※山の手地域中央と山の手地域西部は、参加人数の都合上、合同で実施しました。

(3) 参加者・実施方法

参加者は、協議会の区民委員、区民委員のご紹介者（関係団体当事者等）等です。

実施方法は、参加者を現行基本構想の重点整備地区別（5地区：都心地域、下町隣接地域、山の手地域東部、山の手地域中央、山の手地域西部）にグループ分けし（山の手地域中央、山の手地域西部は1グループとして実施）、グループごとに意見交換を実施し、課題等を共有しました。

(4) 意見交換のテーマ

○テーマ1：バリアフリー化されてよくなった点[20分]

○テーマ2：更なるバリアフリー化が必要な点[30分]

※各テーマは、重点整備地区ごとに以下の項目で整理しました。

鉄道駅／バス／タクシー／道路／信号機・横断歩道等／建築物（駐車場合）／公園／心のバリアフリー／情報のバリアフリー／その他

<地域懇談会の様子>



2.4.2 結果概要

重点整備地区ごとの主なご意見を以下に示します。

■都心地域 【凡例 ◎良い点、△課題点、□その他】

鉄道駅	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅は、エレベーター、エスカレーターが出来て上下移動が楽になった。 ◎ 地下鉄駅はホームドアが完備された。 △ 駅の無人化、省人化で窓口対応をしてもらいにくい。 △ 鉄道駅のエスカレーターを歩いて登っている人が多い。2列に並んで止まるようにしてほしい。
バス	<ul style="list-style-type: none"> ◎ バスの掲示板(運転手横)が大きくなって見やすくなった。 ◎ 都バスに低床型車両が導入された。 △ 路線がいくつかある停留所には行き先の音声による案内があると良い。
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> ◎ タクシーアプリができたことで、どこからでも乗れるようになった。ユニバーサルデザイン認定要領適合のタクシーも増えた。 △ 視覚障害者にとってタクシーアプリを使うことは困難であるが、アプリ対応のタクシーが増えたため、流し営業のタクシーを利用することが難しくなった。
信号機等	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 白山通りに、音響式信号機とエスコートゾーンがついた。 ◎ 自転車専用通行帯などが整備され、安全に走れるようになった。 △ エスコートゾーンの修繕がされていなく、摩耗したままになっている所が多い。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 御茶ノ水駅とお茶の水橋周辺の歩道幅員の拡張により、人流が低密度になり、安心して歩けるようになった。 △ 道路管理者が自転車通行空間を整備する必要がある。「自転車は歩道を走るもの」という意識を変えていく必要がある。 △ 自転車が多く、坂で加速した自転車がベビーカーの横を通り過ぎる場面をよく見かける。 △ 都道・区道の境では、視覚障害者誘導用ブロックを連続的に設置して欲しい。
建築物	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 文京区役所の福祉課には手話通訳もモニターもあり、聴覚障害者にとって利用しやすい。 △ 役所や銀行での呼び出し待ちの際、聴覚障害者は、呼び出し番号が表示されるモニター等をずっと見ていないとわからないため、ポケットベル(バイブレーション)があると良い。 △ 視覚障害の場合、番号札が取れない(どこにあるかわからない)。
情報のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> △ スマホでの情報が発展しているものの、アクセシビリティという点では課題が残る。 △ 交通状況等の放送とあわせてリアルタイム情報の字幕化が進むと良い。 △ 引っ越してきた視覚/聴覚障害者が案内の位置を理解しやすい取組(転入障害者への情報提供など)を実施してほしい。 □ 視覚障害者が利用する音声ナビのアプリも出てきたが、アプリに集中すると周りの音や位置感覚がなくなってしまう。視覚障害者も歩きながらの使用はやめた方が良い。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 声をかけられる機会が増えた。(視覚障害) △ 機器を利用する人が少なくてもモニター等設備をなくさないでほしい。

■下町隣接地域 【凡例 ◎良い点、△課題点、□その他】

鉄道駅	<p>◎ 車内のモニターで、停車駅名や案内が文字でわかる。(聴覚障害)</p> <p>◎ 無人改札では券売機の前にカメラがあり、それに映すと駅員が遠隔で対応してくれるところもある。</p> <p>△ 東京メトロ南北線 東大前駅は、ホームにもインターホンがあるが、耳の聞こえない人は困る。</p> <p>△ 各出口にエレベーターの所在表示があると良い。</p>
バス	<p>◎ 空いている席を言葉で具体的に教えてくれるようになった。「優先席の一番前が空いています」等。(視覚障害)</p> <p>△ バスが斜めに停まることがあるが、手前に車が止まっていると必ずそうなる。駐車禁止ゾーンをもっと長くして、一般車が駐車できないようにして、バスが歩道に正着できるようにしてほしい。</p>
タクシー	<p>◎ 車いす用乗降場所が出来ている。</p> <p>◎ 乗務員が親切。肢体不自由者を乗降させるとき、危ないと感じたら手伝ってくれたり、声をかけてくれたりする。スムーズに乗れるようになった。</p>
信号機等	<p>◎ 勤労福祉会館とコンビニの間にある信号機に、信号が変わるまでの時間のカウントダウン表示がついた(経過時間表示式信号機)。もっとほかのところにもつけてほしい。</p> <p>△ 団子坂下交差点にはエスコートゾーンがないため、敷設してほしい。</p>
道路	<p>◎ 自転車専用通行帯が整備された。</p> <p>△ 道灌山から団子坂までの歩道の両側が狭く、また真ん中に電柱が立っているの車いすですり通りにくい。視覚障害者誘導用ブロックが敷設されており、車いすやベビーカーとの共存も課題である。</p> <p>△ 団子坂下交差点から谷中方面に向かう歩道がデコボコしているので整備してほしい。</p>
建築物	<p>◎ 放送の一部は文字化されている。</p> <p>△ 根津図書館では、本棚の間の通路や座るところ等が狭い。車いすの人は入れないだろう。</p>
駐車場	<p>◎ 日本医科大学付属病院では、車いすが乗り降りできる大きめの駐車スペースが設置されており、利用しやすかった。</p>
公園	<p>△ 防災無線の放送があっても聴覚障害者は気づけない。放送があったことがわかれば、防災アプリを開いて確認できる。</p>
心のバリアフリー	<p>△ ヘルプマークを付けている人を見ても、席を譲らずに知らないふりをする人がいる。</p> <p>△ 優先席でスマホを触っていて、目の前に必要とする人がいても気づかないことがあるため、啓発が必要である。</p> <p>△ 心のバリアフリーについてはまだまだ理解している人は少ないと思う。ヘルプマークを使用している人も多くなっているため、今後も障害者の理解を進めていく事も大切である。</p>
その他	<p>◎ コンビニに指差しシートがあり、「お箸は要りますか」等を指差しで聞いてもらえる。ガソリンスタンド等他の施設でも設置してほしい。</p> <p>◎ 歯科医院や床屋等で会話が必要な場面がある。相手の話していることがわからないため、スマホでテキスト化しているが、面倒がらないで対応してくれる。(聴覚障害)</p> <p>△ 夜交番に行くと無人で、「電話してください」とあるが、聴覚障害者は電話できないので困る。</p>

■山の手地域東部 【凡例 ◎良い点、△課題点、□その他】

鉄道駅	△ 白山駅は、出入口のエレベーターに車止めがあって車いすが入りにくい。 △ 白山駅は、道路から地下鉄への出入口がわかりにくい、エレベーターの位置もわかりにくい。
バス	△ バスが正着できていないと車歩道間に段差が生じ、こども・荷物を持った老人がつかまずいて危険である。
信号機等	◎ 白山通りは、車通りが多いと音が聞こえにくかったが、音響式信号機の音量を上げてもらえて渡りやすくなった。 △ 音響式信号機は8時15分から17時までしか音が鳴らないため不便である。 △ 音響式信号機の設置箇所を増やしてほしい。
道路	◎ 工事中で視覚障害者誘導用ブロックが無くなってしまったが、都道管理者がすぐ対応してくれて敷設された。 △ 白山下～白山上に行く間の交差点は視覚障害者誘導用ブロックとエスコートゾーンを設置してほしい。現状一部設置されているが分かりにくい、不十分である。 △ 菊坂通りは、歩道がガタガタしていて歩きにくい。 △ 高齢者が道路で休憩できる場所が欲しい。
公園	△ 清和公園は、階段が狭くて危険である。

■山の手地域中央・西部 【凡例 ◎良い点、△課題点、□その他】

鉄道駅	◎ 東京メトロ有楽町線 江戸川橋駅にエレベーターが設置された。便利で使っている。 ◎ オリンピックを契機に地下鉄のホームドアがほぼ整備された。転落の危険が減り、視覚障害者だけでなく高齢者等にとっても良い。 △ 東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅は、中央大学(茗荷谷キャンパス)ができてから利用者が増えた。小学生等、駅員が改札におらず困っている人を見かけることも増えた。小学生の通学時間帯も駅員がいない。 △ インターホンのボタンは視覚障害者が見つけられない。少しでも音を鳴らしてほしいと要望しているが、音を嫌う障害もある。 △ バリアフリールートは1ルートでは少ない。ベビーカーがエレベーターに列を作ることもある。
バス	◎ 最近反転式スロープ板が増えてきており、運転手が短時間で設置している。 △ バスが正着しないために段差が発生してしまい、乗り降りが大変である。
タクシー	◎ オリンピックを契機に乗りやすい車両が増えた。 △ スマホでタクシーを予約する事が難しい人への対応が必要である。
信号機等	△ 音響式信号機がない。整備されていても周辺住民から苦情が出るため切っているそうだが、折り合いをつけた音響式信号機はできないか。 △ 渡り始めと終わりさえ認識できれば良いため、音響式信号機に大きな音は要らない。小さな音で良いから設置してほしい。

道路	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 目白通りは、整備されてきれいになった。 ◎ 音羽通りは、筑波大学附属視覚特別支援学校が近くにあるため、目の悪い方が多く通行するが、視覚障害者誘導用ブロックが整備されてよくなったと思う。 △ 視覚障害者誘導用ブロックとベビーカーの共存が課題である。視覚障害者誘導用ブロックが歩道の真ん中を通っているが、どちらかに寄せたほうが良いのではないか。 △ 自転車は自転車通行空間を通行してほしい。スピードが出ているため危ない。
建築物	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 文京スポーツセンターは、トイレがきれいに整備された。 △ 公共施設で道路からその建物に入る経路について、視覚障害者誘導用ブロックがないところがある。
公園	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 教育の森公園・占春園は、舗装が適切でベビーカー等も通りやすそう。 ◎ トイレの整備が進んできた。水栓でキレイ、使いやすい。
心のバリアフリー等	<ul style="list-style-type: none"> ◎ ヘルプマークが普及されてきた。娘もヘルプマークを付けていると電車で席を譲ってもらえるようになった。 ◎ バスで、車いすの固定等、運転手の手際が良くなった。 ◎ 人が多いところでは自閉症の娘は声を出してしまうことがあるが、ヘルプマークを付けていたら、好奇の目では見られなくなった。 ◎ 「どちらに行かれますか」等と声をかけてもらえるようになった。道を歩いていても一般の方に声をかけられるようになった。(視覚障害)
情報のバリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 案内板の中に QR コードをつけているものが多くなった。障害のある人の情報収集に役立つ。 △ 文京区のホームページは、知りたい内容になかなかたどり着けない。すぐにたどり着けるようにしてほしい。 △ 公園の禁煙等の情報が多言語化されていない。本人がほしい情報というより、運用上等で知ってほしい情報をわかりやすく伝えてほしい。 △ 電子機器を使えない人が取り残されている。アプリ習熟の機会を提供することが重要である。 △ 障害者対応のアプリが充実すると良い。 △ インターネットで調べ物をしている時に、詳細を知りたくて電話をかけようと思っても AI チャットやメール対応のみで電話番号が掲載されない所が増え、不便を感じる。人に対応してほしい。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 全体的にエレベーターが増えて便利になった。 △ 目白台は標高差が大きく、既にバリアになっている。最寄りの住民票等を取れる施設、図書館、交流館までそれぞれ大きな標高差を超えて移動しないといけないが、公共交通がない。手すりがついたため上りやすくなったが、高齢者はタクシーを使っている。Bーぐるの運行路線を変えてもらえないかと発案したが、却下された。公共施設に行くところくらいは対応してほしい。